

International Maritime Research Centre (IMaRC)

Graduate School of Maritime Sciences
Kobe University

国際海事研究センター
神戸大学大学院 海事科学研究科

Founded October 1,2009

年報
(2023 年度)

Annual Bulletin FY 2023

Vol.15

2024.3

神戸大学 大学院 海事科学研究科附
属国際海事研究センター (IMaRC)
年報(2023 年度) Vol.15 2024.3

目次

巻頭言	1
1 2023年度 センター構成員	2
2 2023 年度の主な活動	4
3 研究業績	5
3.1 学部特別研究のタイトルと指導教員	
3.2 修士論文のタイトルと指導教員	
3.3 博士論文のタイトルと指導教員	
3.4 書籍、学術論文	
3.5 研究発表	
4 受賞・報道・研究集会開催	29
4.1 国際会議や研究集会の主催・共催	
4.2 招聘した外国人研究者	
4.3 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）	
5 競争的資金の獲得	34
5.1 代表者としての外部資金獲得状況	
5.2 分担者としての外部資金獲得状況	

巻頭言

海事科学研究科附属国際海事研究センターIMaRCの2023年度の活動報告をお届けします。現在、IMaRCには、国際海事政策科学研究部門と輸送システム科学研究部門、海洋システム科学研究部門、海事輸送工学研究部門の4部門が置かれております。それぞれの部門における研究成果を見ていただきたいと思いますと考えております。

2003年10月、神戸大学と神戸商船大学の統合を機会にIMaRCの前身となる「海事科学部附属国際海事教育研究センター」が設置されました。現在の名称に組織拡充が行われたのは2009年10月であり、研究への志向が明確になりました。2024年度からの新たな出発に向けて、国際海事政策科学研究部門を国際海事・海洋政策科学研究部門に、輸送システム科学部門を流通・物流システム科学研究部門に再編します。また、新たにIMaRC独自のリサーチフェロー制度を設けます。国際共同研究を含む、学内外の共同研究を展開するプラットフォームとしての本センターの機能強化へ向けた改組を進めます。

IMaRCの活動をまとめた年報は今回で15号です。今後とも引き続き、関係各位の皆様のご支援とご協力を引き続き賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年3月

国際海事研究センター

1 2023年度センター構成員

センター長 山内 知也

副センター長 笹 健児

国際海事政策科学研究部門

部門長 淵 真輝 国際海事研究センター 准教授
藤本 昌志 海事科学研究科附属練習船海神丸 教授
中田 達也 国際海事研究センター 准教授
ルックス マシュー 海事科学研究科 准教授

客員教授 中原 裕幸 神奈川大学海とみなと研究所 上席研究員
客員教授 工藤 栄介 公益財団法人笹川平和財団 参与
客員教授 羽原 敬二 関西大学 名誉教授
一般財団法人日本海事協会 理事

客員教授 松本 宏之 海上保安大学校 名誉教授
客員教授 坂元 茂樹 神戸大学 名誉教授
公益財団法人人権教育啓発推進センター 理事長

客員教授 吉田 公一 一般財団法人日本舶用品検定協会 顧問
客員教授 春名 克彦 日本郵船株式会社 執行役員／海務グループ グループ長
客員教授 綾 清隆 川崎汽船株式会社 専務執行役員
客員教授 関根 博 トーマス・ミラー株式会社 シニア・ロスプリベンション・エグゼクティブ

客員教授 平塚 惣一 元・一般社団法人海洋会 会長
客員教授 大前 正也 株式会社サクセス・プロジェクト・マネジメント・オフィス
代表取締役社長

客員教授 澤井 弘保 三貴株式会社 常任顧問
客員教授 加藤 雅徳 株式会社商船三井 常勤監査役
客員教授 高橋 基樹 京都大学アフリカ地域研究資料センター センター長
京都大学大学院 アジアアフリカ研究科アフリカ地域研究専攻
教授

客員教授 長谷部正道 元・海事科学研究科 教授

輸送システム科学研究部門

部門長 齋藤 勝彦 海事科学研究科 教授
西村 悦子 海事科学研究科 教授
秋田 直也 国際海事研究センター 准教授
水谷 淳 海事科学研究科 准教授
酒井 裕規 海事科学研究科 准教授
沖本 天太 海事科学研究科 准教授
上田 好寛 海事科学研究科 准教授
牧野 秀成 海事科学研究科 准教授

客員教授 青木 伸一 大阪大学 名誉教授
客員教授 新谷 浩一 東海大学海洋学部 教授

客員教授 奥野 誠 昭陽汽船株式会社 代表取締役会長
 客員教授 荒木 協和 サンスターグループ ロジスティクス研究室長
 客員准教授 北澤 裕明 日本女子大学家政学部食物学科 准教授
 客員准教授 川口 和晃 神栄テクノロジー株式会社 システム事業推進部 部長
 客員准教授 前野 達也 日本貨物鉄道株式会社 総務部長

客員准教授 大西 康晴 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 マネージャー
 客員准教授 三重野 紘央 中国塗料株式会社 技術本部 主管
 客員准教授 葛西 直樹 井本商運株式会社 営業部長

海洋システム科学研究部門

部門長 岡村 秀雄 内海域環境教育研究センター 教授
 ゴメス クリストファー 海事科学研究科 教授
 堀田 弘樹 海事科学研究科 教授
 山地 一代 海事科学研究科 准教授
 岩田 高志 海事科学研究科 助教
 客員教授 牧 秀明 国立研究開発法人国立環境研究所
 地域環境保全領域海域環境研究室 主幹研究員
 客員教授 福士 恵一 元・海事科学研究科 教授
 客員教授 角田 欣一 元・群馬大学 教授
 客員教授 板野 泰之 大阪市立環境科学研究センター 研究主任
 客員教授 竹谷 文一 国立研究開発法人海洋研究開発機構
 地球環境部門地球表層システム研究センター 主任研究員
 客員教授 赤松 友成 公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所 海洋政策研究部
 長
 客員教授 中山 敦好 国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員
 客員教授 ダナンス・スリ・ハッドモコ ガジャマダ大学地理学部環境地理学科
 教授
 客員教授 チー・コン・ヤップ マレーシアプトラ大学理学部生物学科
 教授
 客員准教授 パセント・フランス・カレール ナミビア大学 Senior lecturer
 客員准教授 アディティア・サブトラ スラカルタ・ムハンマディア大学地理学部 准
 教授

海事輸送工学研究部門

部門長 笹 健児 国際海事研究センター 教授
 内田 誠 海事科学研究科 教授
 大石 哲 都市安全研究センター 教授
 元井 直樹 海事科学研究科 准教授
 三輪 誠 海事科学研究科 准教授
 勝井 辰博 海洋底探査センター 教授
 繁森 敦 海事科学研究科 学術研究員
 客員教授 柏木 正 国立大学法人大阪大学 名誉教授

客員教授 越村 俊一 国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所 教授
客員教授 田中 良和 商船三井テクノトレード株式会社 技術顧問
客員准教授 陳 辰 武漢理工大学 講師
客員教授 牧 敦生 国立大学法人大阪大学 大学院工学研究科地球総合工学専攻
教授

2 2023年度の主な活動

2.1 福士恵一客員教授が日本海水学会第74年会において、2022年度最優秀論文賞受賞に伴う講演（海洋システム科学研究部門）

海事科学研究科国際海事研究センターの福士恵一客員教授が、2023年6月8日に日本大学津田沼キャンパスにて開催された日本海水学会第74年会において、同学会の英文学会誌Salt and Seawater Science & Technologyの2022年度最優秀論文賞受賞に伴う講演を行いました。キャピラリー電気泳動法による塩中のヨウ化物イオンとヨウ素酸イオンの同時分別定量法の開発に対して同賞が贈られた。

【受賞論文題目】

Simultaneous Determination of Iodide and Iodate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachopheresis

【Authors】

Keiichi FUKUSHI, Hiroki HOTTA, Hideo OKAMURA and Hideyuki INUI, Salt and Seawater Sci. & Tech., 3, 37-44 (2022). https://doi.org/10.11457/ssst.3.0_37

2.2 中田達也准教授の紹介記事が一般財団法人港湾空港総合技術センターの機関紙『SCOPE NET』に掲載（国際海事政策科学研究部門）

2.3 中田達也准教授が7月28日開催の海洋資源・産業ラウンドテーブル第26回全体会で“「ノルウェー海底鉱物法」（Act relating to mineral activities on the Continental Shelf）からの示唆”と題して話題提供（国際海事政策科学研究部門）

2.4 中田達也准教授が8月3日TBSラジオ「荻上チキ・Session」に出演（国際海事政策科学研究部門）

2.5 岡村秀雄教授が8月25日放送NHK「テコちゃんに叱られる」に出演し、「大型船の下が赤いのはなぜ？」について解説（海洋システム科学研究部門）

2.6 山地一代准教授が参加する研究チームが高密度観測ネットワークで輸送過程を解明。インド・パンジャブ地方の稲わら焼きがデリー首都圏の深刻な大気汚染の原因になっていることを明らかにしました。（海洋システム科学研究部門）

2.7 笹 健児教授がインドネシア・バリ島で開催された国際会議The 18th International Conference on Quality in Researchにて招待講演（海事輸送工学研究部門）

2.8 中田達也准教授が編集・執筆に携わった書籍『海の法文化と陸の法文化（法文化叢書20）』（国際書院発行、2024年1月発行）発行（国際海事政策科学研究部門）

2.9 国際海事研究センター研究プロジェクト報告会を開催

日時 令和6年2月22日（木）10:40～12:10

場所 神戸大学大学院海事科学研究科 総合学術交流棟梅木Yホール

講演1 Tsunamigenic Volcanic Collapses at Izu Ooshima: Disaster risk in Tokyo bay (伊豆大島における津浪性火山崩落：東京湾の津波災害)

ゴメス クリストファー 神戸大学大学院海事科学研究科 教授

講演2 現場観測と数値シミュレーションによる瀬戸内海周辺地域の大気質の実態把握と社会的変容にตอบสนองする大気質の評価

山地 一代 神戸大学大学院海事科学研究科 准教授

講演3 日本における水中遺跡保存の法制度について ~Ocean Decade Heritage Network (2021-2030)との関係~

中田 達也 神戸大学大学院海事科学研究科 附属国際海事研究センター 准教授

3 研究業績

3.1 学部特別研究のタイトルと指導教員

国際海事政策科学研究部門

- ・ 振動刺激が航海当直中の覚醒水準に与える影響について(淵・小西)
- ・ 小学校における海の出前授業に関する考察(淵・小西)
- ・ 実習授業におけるリーダーシップに関する一考察(淵・小西)
- ・ 香りによる船酔いの軽減について(淵・小西)
- ・ 操船における熟練者の見方(淵・小西)
- ・ 操船者の緊急対応までの行動の分析(淵・小西)
- ・ 船舶運航管理に関する研究－自動運航船の出現による変容－(藤本(昌)・猪野)
- ・ 水路入口付近における横切り適用の妥当性の検討－英国最高裁判決と国内事例の比較より－(藤本(昌)・猪野)
- ・ 漁業従事者から見る、自動運航船と小型漁船の共存に関する研究(藤本(昌)・猪野)
- ・ 播磨灘及び大阪湾における自動運航船と漁船の衝突事故危険性の検討(藤本(昌)・猪野)
- ・ Globalization and English education in Japan(ルックス)
- ・ Analyzing the effects of COVID-19 on lifestyle and SNS use (ルックス)
- ・ An Analysis of Job Hunting in Japan (ルックス)

輸送システム科学研究部門

- ・ 花きの価格変動分析のための予測モデル構築に関する研究(西村)
- ・ 邦船三社コンテナ船事業統合に伴う港湾ターミナル利用の動向調査(西村)
- ・ 漁業界における人材不足に関する現状調査(西村)
- ・ 遺伝的アルゴリズムを用いたコンテナドレージのための配車計画(西村)
- ・ 鉄道コンテナ集配拠点の分布特性に関する研究－大阪府内に立地する貨物駅を対象として－(秋田)
- ・ 利用促進を目的とした鉄道コンテナ輸送ネットワークの強化方策の検討－西日本地域を対象として－(秋田)
- ・ トラック運転者不足の解決要因の分析(秋田)

- ・トラック運転者の働き方を考慮した長距離運行の改善点の提案(秋田)
- ・加工食品物流における配送需要特性に関する研究－東北地方を対象として－(秋田)
- ・ロジスティクス回帰分析を用いたアメリカンフットボールのパス成功要因の推定(水谷)
- ・長距離輸送におけるトラック輸送とフェリー・RORO船を利用した輸送の物流労働生産性比較(水谷)
- ・トラック輸送の中長距離フェリーへのモーダルシフトの検討(水谷)
- ・仮想市場法を用いた再配達有料化の検討(酒井)
- ・再配達率と消費者の問題意識・行動要因の関係に関する考察(酒井)
- ・コード決済の利用要因分析(酒井)
- ・水道事業における民間活用の効果に関する分析(酒井)
- ・上下分離方式導入による地域鉄道のパフォーマンスの変化に関する分析(酒井)
- ・休暇とフライト希望を考慮したクルースケジューリング(沖本)
- ・0-1 整数計画法による救命救急センターの医療スタッフ・スケジューリング(沖本)
- ・ロバスト性を考慮した警備員配置問題(沖本)
- ・ワークライフバランスを考慮した救命救急センターの医療スタッフスケジューリング(沖本)
- ・0-1 整数計画法に基づくロバスト性を考慮したクルー・ペアリング問題(沖本)
- ・Jin-Xinモデルにおける時間依存を考慮したシフトをもつ粘性衝撃波の安定性解析(上田)

海洋システム科学研究部門

- ・OxiTopを用いたベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の海水中での生分解性評価(岡村)
- ・河川におけるマイクロプラスチック量の測定手法の評価(ゴメス)
- ・斜面安定性に対する地震外力と地形の影響-2018年北海道胆振東部地震による崩壊性地すべり(ゴメス)
- ・富士川下流域における流木の堆積状況の測定と、河川形状から見た堆積要因の考察(ゴメス)
- ・メタ-ジヒドロキシベンゼン骨格をもつポリフェノール類の酸化還元特性の研究(堀田)
- ・ヘアアイロンを用いた毛髪染料における染毛状態の観察(堀田)
- ・電気透析法によるリチウムイオン回収の検討(堀田)
- ・髪質改善素材の特性評価と各種アミノ酸との相互作用の観察(堀田)
- ・デリー首都圏およびその周辺地域における乾季のPM2.5濃度上昇の要因について(山地)
- ・NASA ATom航空機観測より見られる北米大陸および北極圏のBC空間分布(山地)
- ・全国常時監視測定結果に基づくPM2.5濃度の季節変動の経年推移と地域性(山地)
- ・ミシシippiaカミミガメの餌探索行動下の嗅覚・味覚に関する研究(岩田)
- ・大阪湾西部における水中マイクを用いた小型鯨類の来遊状況に関する研究(岩田)
- ・カナダ・セントローレンス湾のザトウクジラの同調行動に関する研究(岩田)

海事輸送工学研究部門

- ・船舶機関運用管理におけるワークロードVACP評価-実船機関室環境における適用性と客観性の検証-(内田)
- ・ERMに関するNon-Technical Skills評価において事前学習が評価者に与える影響(内田)
- ・乗船実習とチームスポーツにおけるTRMの比較-構成員によるNon-Technical Skills自己分析-(内田)
- ・新造練習船海神丸の船舶推進動力特性-増減速におけるCPPモードとFPPモードの比較-(内田)
- ・機関損傷事故要因の統計と海難審判・船舶事故調査の変遷(内田)
- ・遠隔操作型移動ロボットの操作性向上のための速度生成手法に関する検討(元井)
- ・負荷側情報を考慮した水中バイラテラル制御に関する研究(元井)
- ・動的障害物環境における強化学習を用いたDynamic Window Approachに関する研究(元井)
- ・PER-DDPGを用いた狭路環境における移動ロボットの経路計画に関する研究(元井)
- ・視覚アシストを用いた穿刺トレーニングシステムに関する研究(元井)
- ・水コシ器の閉塞状況の検出に関する研究-コシ器内の異物移動の特徴-(三輪)
- ・水コシ器の閉塞状況の検出に関する研究-コシ器内の異物検出の試行-(三輪)
- ・効果的なコミュニケーションに関する研究-作業会話の作業精度への影響-(三輪)
- ・効果的なコミュニケーションに関する研究-作業会話の作業負担への影響-(三輪)
- ・船舶機関の燃料転換時の安全基準に関する研究(三輪)
- ・海底掘削用ドリルパイプの下端に作用する海底からの反力に関する数値計算(勝井)
- ・ソナーデータを用いた機械学習による水底物体の識別(勝井)
- ・実船スケールにおける粗度抵抗の計算に対する壁関数モデルの適用性の検証(勝井)
- ・浮上式津波係留ビットによる津波の減災効果に関する研究(勝井)

3.2 修士論文のタイトルと指導教員

国際海事政策科学研究部門

- ・自律運航船普及に際する避航回避動作の数値基準作成に関する研究（藤本（昌））
- ・海難審判における「無難に航過する」に関する一考察 -適用傾向と海外の判例との比較-（藤本（昌））
- ・日中航海士の技能教育と教育意識に関する一考察（藤本（昌））

輸送システム科学研究部門

- ・振動外力による段ボール箱の劣化について（齋藤）
- ・鉄道会社が主催するウォーキングイベントの価値評価ートラベルコスト法を用いた社会的余剰分析ー（水谷）

海洋システム科学研究部門

- ・伊豆大島におけるLiDARデータを用いた土石流危険地域の特定とハザードマップの作成（ゴ

メス)

- ・ 雲仙普賢岳における降雨によって引き起こされる土石流の警戒システムの改良について (ゴメス)
- ・ GBSARとXRAINを活用した雲仙普賢岳溶岩ドームの変位と降水の時空間解析 (ゴメス)
- ・ 有機酸-アミン複合体を用いた縮毛矯正とその毛髪のも物性評価法に関する研究 (堀田)
- ・ 針葉樹チップ発酵熟成堆肥から得た腐植酸の化学物性測定 (堀田)
- ・ LC-MSによる高感度フッ化物イオン定量法の開発 (堀田)
- ・ 毛髪のも表面電位評価法の検討と表面電位制御による染毛性への効果に関する研究 (堀田)
- ・ 大気質モデル比較に基づく日本都市域のブラックカーボン濃度再現性に関する研究 (山地)
- ・ 飼育下のクサガメ・アカミミガメにおける加速度記録を用いた産卵行動の検出 (岩田)
- ・ 受動的音響モニタリングを用いた大阪湾北西部における小型鯨類の来遊調査 (岩田)

海事輸送工学研究部門

- ・ 実海域における機関負荷の周波数特性から見た荒天航海時の意図的減速の評価 (笹)
- ・ 船舶機関運用管理におけるNon-Technical Skills評価の普遍性の向上 (内田)
- ・ 統計的手法に基づく力覚を有する穿刺シミュレータに関する研究 (元井)
- ・ 精密制御のための機械学習を有する反力推定オブザーバに関する研究 (元井)
- ・ ヒステリシス補償器を有するマイクロマクロバイラテラル制御に関する研究 (元井)
- ・ マイクロマクロバイラテラル制御を用いた剛性推定方法に関する研究 (元井)
- ・ HCDプロセスを用いた機関室シミュレータ演習の提案と検討 (三輪)
- ・ 塗膜粗面の粗度関数とその特性評価 (勝井)
- ・ 海洋掘削用ドリルパイプのStick-Slip現象について一地層摩擦特性変化を考慮した数値解析 (勝井)

3.3 博士論文のタイトルと指導教員

国際海事政策科学研究部門

- ・ A Study of Safe Ship Navigation Using Functional Resonance Analysis Method for Assessing System Resilience Potency
(システムレジリエンス力の評価のための機能共鳴分析手法に基づく船舶の安全航行に関する研究) (藤本 (昌))

海事輸送工学研究部門

- ・ Situation Awareness in Engine Resources Management :Its interplay in cognition, reliability, and socio-technical system (船舶機関管理における状況認識に関する研究: 認知、信頼性、社会技術システムとの相関) (内田)

3.4 書籍、学術論文

国際海事政策科学研究部門

(澁)

- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Shoji Fujimoto, Modelling Ship Officer Performance Variability Using Functional Resonance Analysis Method and Dynamic Bayesian Network, TransNav, the International Journal on Marine Navigation and Safety of Sea Transportation, 2023
- Renda Cui, Zhengjiang Liu, Xinjian Wang, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Ying Zhou, Juncheng Tao, Zaili Yang, Shiqi Fan, Zhiwei Zhao, The Evaluation of Seafarer Fatigue as a Performance-Shaping Factor in the Maritime HRA Method, ASCE-ASME Journal of Risk and Uncertainty in Engineering Systems, Part A: Civil Engineering, 2023.12 (WoS)
- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki FUCHI, Tsukasa KONISHI, Shoji FUJIMOTO, Ship Navigation from a Safety-II Perspective: A Case Study of Training-ship Operation in Coastal Area, Reliability Engineering & System Safety, 109140, 2023 (WoS)

(藤本 (昌))

- I Gde Manik Sukanegara Adhita, Masaki Fuchi, Tsukasa Konishi, Shoji Fujimoto, Modelling Ship Officer Performance Variability Using Functional Resonance Analysis Method and Dynamic Bayesian Network, TransNav, the International Journal on Marine Navigation and Safety of Sea Transportation, 2023
- SAKUMA Shun, FUJIMOTO Shoji, KONISHI Tsukasa, ROOKS Matthew, Estimating the Heading of Overtaken Vessels by Side Passage Lights, Transactions of Navigation, 2023
- ADHITA I Gde Manik Sukanegara, FUCHI Masaki, KONISHI Tsukasa, FUJIMOTO Shoji, Learning Officer Performance Variability from Dangerous Ship Encounter Situations in Ship Simulator, NAVIGATION, 2023

(ルックス)

- SAKUMA Shun, FUJIMOTO Shoji, KONISHI Tsukasa, ROOKS Matthew, Estimating the Heading of Overtaken Vessels by Side Passage Lights, Transactions of Navigation, 2023
- Rooks, Matthew, Investigating Actual Use of SMCPs in VHF Communications: Assessment and Implications for MET, International Maritime Science Conference 2023 Proceedings, 2023.5
- Matthew Rooks, An Analysis of SMCP Usage in VHF Communications by Japanese Seafarers, NASE MORE 2023 International Conference of Maritime Science & Technology Book of Abstracts, 2023.9

(中原)

- 中田英昭他編者9人・共著者多数, 水産海洋ハンドブック, 全735頁, 株式会社生物研究社, (中原裕幸担当箇所: 第1章: 水圏環境、1.4 海洋エネルギー資源、1.4.2 海洋エネルギーの利活用 pp.63-67), 2024年3月発行 (ISBN 978-4-909119-40-7)

(工藤)

- 田中広太郎, 渡辺忠一, 工藤栄介, 吉田公一, 赤松友成, 衛星 VDES の社会実装に向けた有益性実証について, 日本海洋政策学会誌第12号 2023年12月

(羽原)

- 羽原敬二, 「序文「マリンエンジニアリング分野の人材育成の取り組み」によせて」, 『日本マリンエンジニアリング学会誌』第58巻, 第6号, 2023年, 1ページ.

(松本)

- 松本宏之, 港則法上の汽艇に関する一考, (公益社団法人) 神戸海難防止研究会会報第45号, pp.33-34, 2023年6月

- ・松本宏之，商船とプレジャーボートの航行優先権に関する一考，（公益社団法人）神戸海難防止研究会会報第 46 号，pp.67-68，2023 年 9 月
- ・松本宏之，自動運行に関する一考，（公益社団法人）神戸海難防止研究会会報第 47 号，pp.73-74，2023 年 12 月
- ・松本宏之，炭素中立をめぐる国際競争の激化とエネルギー安全保障，（公益社団法人）神戸海難防止研究会会報第 48 号，pp.65-66，2024 年 3 月

（坂元）

- ・坂元茂樹，奥脇直也 共著編，『海上保安法制の現状と展開—多様化する海上保安任務—』，有斐閣，2023年7月17日発行（ISBN：978-4-641-22845-0）
- ・Shigeki Sakamoto, Anatomy of China's Maritime Strategy: Threatening the Maritime Order through its National Legislation and Self-centered Interpretation of UNCLOS, International Law Studies, Vol.100 (2023.6.16), pp.374-402.
- ・坂元茂樹，コロナ禍の船員交代・送還問題とILOの対応，Work&Life 第72号,pp. 6-12, 2023.6
- ・奥脇直也，坂元茂樹編，中国海警法の管轄権行使への対応，海上保安法制の現状と展開,pp. 4-19, 2023.6
- ・奥脇直也，坂元茂樹編，中国海警法制定後の海上保安—武器の使用基準をめぐって—，海上保安法制の現状と展開,pp. 206-225, 2023.6

（関根）

- ・関根博 監修 酒井明彦，亀田義則，山本恵太 共著，「ばら積み船の運用実務」，2024 年 1 月 28 日発行，成山堂書店 (ISBN:978-4-425-33501-5)

（長谷部）

- ・長谷部正道，放置艇に関する一考，海事振興連盟 うみ第68号，pp.18-24，2023年6月

輸送システム科学研究部門

（西村）

- ・Yufeng GUO, Takuma MATSUDA, Etsuko NISHIMURA, Multi-criteria location analysis for emergency distribution center in preflood of Kanto district, 土木計画学研究・講演集, 2023.6
- ・Etsuko Nishimura, Naoto Mizuta, Vehicle dispatch problem with chassis pool use for inland marine container transport, Proceedings of 2023 IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management, 2023.12

（沖本）

- ・Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, A Framework for Patient Symptoms based Nurse Scheduling Problem, In proceedings of International Symposium on Scheduling 2023 (ISS 2023), 2023.6
- ・沖本 天太, 平山 勝敏, サービス付き提携構造形成に基づくタクシー相乗り問題, 人工知能学会全国大会 (JSAI 2023), 2023.6
- ・Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, Effect of influential variable based variable-ordering heuristic in small-world networks, In proceedings of 13th International Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (IIAI-AAI-SCAI 2023), 2023.7

- Tenda Okimoto, Katsutoshi Hirayama, U12 Basketball League Scheduling Problem Based on Minimizing the Total Traveling Distance and the Number of Breaks, Transactions of the Japanese Society for Artificial Intelligence, 2023.11
- 沖本 天太, 平山 勝敏, 移動距離最小化とブレイク数最小化に基づくU12バスケットボールリーグ戦作成問題, 人工知能学会論文誌, 2023.11

(上田)

- Tomoyuki Suzuki, Yoshihiro Ueda: Lack of the strict dissipativity and modification for the dissipative Bresse system. *J. Differential Equations* 347 (2023), 24–55.
- Ramón Quintanilla, Reinhard Racke, Yoshihiro Ueda: Decay for thermoelastic Green-Lindsay plates in bounded and unbounded domains. *Commun. Pure Appl. Anal.* 22 (2023), no. 1, 167–191.
- Marcio Antonio Jorge Silva, Yoshihiro Ueda: Memory effects on the stability of viscoelastic Timoshenko systems in the whole 1D-space. *Funkcial. Ekvac.* 66 (2023), no. 2, 71–123.

(牧野)

- Hitoshi Yoshioka, Hirotada Hashimoto, Hidenari Makino, Decision-making algorithm for ship collision avoidance with collision risk map, *Ocean Engineering*, 2023.10

(青木)

- 辛翔, 上岡咲絵子, 青木伸一, 岡辺拓巳, 海食崖前面の砂丘周辺の風況と飛砂の特性に関する研究, 土木学会論文集, Vol.79, No.17, 23-17085, 2023年11月.
- Rajuli, S. Araki and S. Aoki, Optimized Inundation Modelling Using Offshore Hazard-Point Tsunami Waveform, Proc. APAC 2023, November, 2023, Kyoto.
- Hsin Hsiang and S. Aoki, A method of identifying coastal dunes by UAV mapping - An application to Omotehama Coast, Aichi Prefecture, Proc. APAC 2023, November, 2023, Kyoto.
- Tsutsumi Y., S. Aoki, and S. Araki, Practical and Precise Formula for Wave Forces on Single Cylindrical Tank by Run-up Tsunami, Proc. APAC 2023, November, 2023, Kyoto.
- Sila M. Fundora Campos and S. Aoki, Effect of Submerged Plates on the Dynamic Response and Sliding Simulation of Caisson Breakwaters, Proc. APAC 2023, November, 2023, Kyoto.

(北澤)

- Feng, L., Jiang, X., Han, J., Li, L., Kitazawa, H., Wang, X., Guo, Y., Dong, X., Liu, H., Properties of an active film based on glutenin/tamarind gum and loaded with binary microemulsion of melatonin/pummelo essential oil and its preservation for *Agaricus bisporus*, *Food Chemistry* Vol. 429, 136901, 2023. (DOI: 10.1016/j.foodchem.2023.136901)
- Watanabe, T., Kitazawa, H., An approach of shelf-life extension technology focusing on recovery lag of physiological responses: Residual effect of modified atmosphere packaging on the color changes of broccoli flower buds, *Postharvest Biology and Technology*, Vol. 206, 112579, 2023. (DOI: 10.1016/j.postharvbio.2023.112579)
- Saengwong-ngam, R., Saengrayap, R., Rattanakaran, J., Arwatchananukul, S., Aunsri, N., Tontiwattanukul, K., Jitkokkrud, K., Trongsatitkul, T., Lerslerwong, L., Kitazawa, H., Mahajan, P., Chaiwong, S., Cushion performance of eco-friendly natural rubber latex foam composite with bamboo leaf fiber for impact protection of guava, *Postharvest Biology and Technology*, Vol. 208, 112663, 2023. (10.1016/j.postharvbio.2023.112663)
- Jiang, X., Feng, L., Han, J., Li, L., Wang, J., Liu, H., Kitazawa, H., Wang, X., Preparation of hydroxypropyl methylcellulose/pueraria-based modified atmosphere film and its influence on delaying the senescent process of postharvest *Agaricus bisporus*, *International Journal of Biological Macromolecules*, Vol. 261, Part 2, 129611. 2024. (DOI: 10.1016/j.ijbiomac.2024.129611)
- Feng, L., Zhang, N., Wang, J., Jiang, X., Han, J., Li, L., Kitazawa, H., Wang, X., Chen, C., Guo, G., Sustained release of a novel bilayer packaging film loaded with binary microemulsion of melatonin/pummelo essential oil and its regulation of postharvest energy metabolism in *Agaricus bisporus*, *Food Control*, Vol.

161, 110396, 2024. (DOI: 10.1016/j.foodcont.2024.110396)

- Kitazawa, H., Sato-Takabe, Y., Yamada, A., Evaluation of the Impact of Oxygen and Carbon Dioxide Atmospheres on Respiration Rate Measurement of Cherry Tomato, 日本包装学会誌一般論文, Vol. 32, Issue 6, pp.387-396. 2023年12月.
- 宮ノ下明大, 北澤裕明, 萩田美乃里, 土方野分, 低酸素処理におけるコクゾウムシとタバコシバンムシの成虫と卵の死亡率, 都市有害生物管理, Vol. 13, Issue 2, pp.53-61, 2023年12月.
- 北澤裕明, 葉菜類の品質保持に関する最近の研究事例, 食品と容器, 第64巻9号, pp.578-583, 2023.
- 北澤裕明, 果実輸出における衝撃発生とその対策, 日本包装学会誌, 第32巻5号, pp.321-327, 2023.
- 北澤裕明, 学術論文査読の要点, 日本包装学会誌, 第32巻6号, pp.381-386, 2023.
- 北澤裕明, 青果物の品質保持のための流通・包装技術, 表面と真空, 第67巻1号, pp.21-26, 2024.
- 北澤裕明, 大学で食品包装研究を開始するにあたって, 食包協会報, 第181号, Online (5 pages), 2024.
- 北澤裕明, 食品包装の世界【1】—機能と役割—, OTAFF通信, 2023年度第4四半期号, pp.6-7, 2024.

(川口)

- 川口和晃, 1試料による落下試験機を用いた衝撃強さ試験, 日本包装学会誌 32 (2), 135-141, 2023
- 川口和晃, 1試料による包装貨物落下試験機を用いた簡易衝撃強さ試験, 包装技術 61 (4), pp.304-307, 2023年4月

(三重野)

- 三重野紘央, 船底防汚塗料の開発ならびに関連法規制の動向, 招待講演, マリンエンジニアリング学術講演会, Vol.37, pp.133-138, S30-5, 2023年9月, 神戸.
- 三重野紘央, 貞松喬太, 直円管を用いた船底防汚塗料の粗面摩擦抵抗の計測-計測法ならびに結果整理の初期検討-, 日本船舶海洋工学会講演論文集, Vol.37, pp.651-652, GS17-2, 2023年11月, 長崎.
- 三重野紘央, 船底防汚塗料の最新情報と、防汚塗料に関わる情報技術の活用, 海洋水産エンジニアリング, 第173号, pp.61-66, 2024年1月

海洋システム科学研究部門

(岡村)

- Yap, C.K., Hew, T.Y.A., Nulit, R., Syazwan, W.M., Okamura, H., Horie, Y., Ong, M.C., Ismail, M.S., Kumar, K., Zakaly, H.M.H., Cheng, W.H. (2024) Copper in Commercial Marine Fish: From Biomonitoring to the ESG (Environment, Social, and Governance) Method. *Pollutants* 4(1), 117-135; DOI: 10.3390/pollutants4010008
- Horie, Y., Mitsunaga, K., Yamaji, K., Hirokawa, S., Uaciquete, D., Ríos, J.M., Yap, C.K., Okamura, H. (2024) Variability in microplastic color preference and intake among selected marine and freshwater fish and crustaceans. *Discover Oceans* 1: 5. DOI: 10.1007/s44289-024-00005-w.
- Fukushi, K., Tsujimoto, J., Hotta, H., Okamura, H., Inui, H. (2024) Quantifying Inorganic Phosphate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachopheresis. *Salt and Seawater Science & Technology*, 4: 15-19.
- Nomura, M., Okamura, H., Horie, Y., Hadi, M.P., Nugroho, A.P., Ramaswamy, B.R., Harino, H., Nakano, T. (2023) Residues of non-phthalate plasticizers in seawater and sediments from Osaka Bay, Japan. *Marine Pollution Bulletin*. 199. 115947. <https://doi.org/10.1016/j.marpolbul.2023.115947>
- Nomura, M., Okamura, H., Horie, Y., Yap, C.K., Emmanouil, C., Uwai, S., and H. Kawai, H. (2023) Effects of antifouling compounds on the growth of macroalgae *Undaria pinnatifida*. *Chemosphere*. 312, 137141, DOI: 10.1016/j.chemosphere.2022.137141

- Zhou,M., Yanai,H., Yap,C.K., Emmanouil,C., Okamura,H. (2023) Anthropogenic Microparticles in Sea-Surface Microlayer in Osaka Bay, Japan. *Journal of Xenobiotics* 13 (4): 685-703. DOI: 10.3390/jox13040044
- Horie,Y., Nomura,M., Ramaswamy,B.R., Harino,H., Yap,C.K., Okamura,H. (2023) Effects of non-phthalate plasticizer bis(2-ethylhexyl) sebacate (DEHS) on the endocrine system in Japanese medaka (*Oryzias latipes*). *Comparative Biochemistry and Physiology, Part C*, 264, DOI 10.1016/j.cbpc.2022.109531
- Horie,Y., Yamagishi,T., Yamamoto,J., Suzuki,M., Onishi,Y., Chiba,T., Miyagawa,S., Lange,A., Tyler,C.R., Okamura,H., Iguchi,T. (2023) Adverse effects of thyroid-hormone-disrupting chemicals 6-propyl-2-thiouracil and tetrabromobisphenol A on Japanese medaka (*Oryzias latipes*). *Comparative Biochemistry and Physiology, Part C*, 263, DOI 10.1016/j.cbpc.2022.109502
- Horie,Y., Ramaswamy,B.R., Rios,J.M., Yap,C.K., Okamura,H. (2023) Effects of plasticizer diisobutyl adipate on the Japanese medaka (*Oryzias latipes*) endocrine system. *J. Applied Toxicol.* 43 (7): 982-992. DOI: 10.1002/jat.4437
- Horie,Y., Nomura,M., Uaciquete,D.L.E., Naijac,A., Akkajitd,P., Okamura,H. (2023) Impact of acetyl tributyl citrate on gonadal sex differentiation and expression of biomarker genes for endocrine disruption in Japanese medaka. *Aquatic Toxicology*. 260. 106553 DOI: 10.1016/j.aquatox.2023.106553
- Yap,C.K., Ahmad Wakid,S., Chew,J.M., Sutra,J., Syazwan,W.M., Aziz,N.A.A., Mustafa,M., Nulit,R., Okamura,H., Horie,Y., Ong,M.C., Ismail,M.S., Dwi Setyawan,A., Kumar, K., Zakaly,H.M.H., Cheng,W.H. (2023) Shell Deformities in the Green-Lipped Mussel *Perna viridis*: Occurrence and Potential Environmental Stresses on the West Coast of Peninsular Malaysia. *Pollutants* 2023, 3, 406-418. DOI: 10.3390/pollutants3030028
- Yap,C.K.; Pang,B.H.; Cheng,W.H.; Kumar,K.; Avtar,R.; Okamura,H.; Horie,Y.; Sharifinia, M.; Keshavarzifard, M.; Ong, M.C.; Naji, A.; Ismail, M.S.; Tan, W.S. (2023) Heavy Metal Exposures on Freshwater Snail *Pomacea insularum*: Understanding Its Biomonitoring Potentials. *Appl. Sci.*13, 1042. doi: 10.3390/app13021042
- Fukushi,K., Hotta,H., Okamura,H., and Inui,H. (2023) Simultaneous Determination of Iodide and Iodate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachophoresis. *Salt and Seawater Science & Technology*, 3: 37-44. Doi: 10.11457/ssst.3.0_37 日本海水学会編集委員会最優秀論文受賞
- Hew,T.Y.A. Yap,C.K. Muhammad Ezzafel Shafu Azhar, Maisarah Defififaldi, Jia Ming Chew, Dg Khairunisa Ahmad Sapawi, Mohd Nordin Abdul Rahman, Mohamad Saupi Ismail, Sarini Ahmad Wakid, Wan Mohd Syazwan, Hideo Okamura, Yoshifumi Horie, Meng Chuan Ong, Ahmad Dwi Setyawan, Krishnan Kumar, Wan Hee Cheng (2023) Perception of water pollution among Malaysian university students: A case study. *Sustainable Social Development* 1(2): 1-13 doi: 10.54517/ssd.v1i2.2199
- 丸山絢加, 中村章生, 中山敦好, 増井昭彦, 堀江好文, 岡村秀雄 (2023) 生分解性プラスチックの天然海水中での分解性及び生態毒性評価. *神戸大学大学院海事科学研究科紀要*20:16-26
- 三重野紘央, 山崎涼太郎, 岡村秀雄 (2023)日本で使用される防汚システムの現状(2023). *神戸大学大学院海事科学研究科紀要* 20:27-38

(ゴメス)

- Malawani, M.N., Lavigne, F., Kelfoun, K., Lahitte, P., Hadmoko, D.S., Gomez, C. 2024.Large debris avalanche and associated eruptive event at Samalas volcano, Lombok,Indonesia.*Bulletin of Volcanology*86(3), 24.
- Park, J.H., Shinohara, Y., Gomez, C., Hotta, N. 2024. Factorscontrollingvolcanicdebris flows two decades after the 1990-1995 eruption at Mount Unzen in Japan.*Geomorphology*, 109119.

- Prana, A.M., Dionisio, R., Curl, A., Hart, D., Gomez, C., Apriyanto, H., Prasetya, H. 2024. Informal adaptation to flooding in North Jakarta, Indonesia. *Progress in Planning*, 100851.
- Mizraee, S., Gomez, C., Pajouhesh, M., Abdollahi, K. 2024. Soil erosion and sediment change detection using UAV technology. *Remote Sensing of Soil and Land Surface Processes*, 271-279.
- Yousefi, S., Mirzare, S., Gomez, C. 2024. Road-side slope erosion using MLS and remote sensing. *Remote Sensing of Soil and Land Surface Processes*, 249-255.
- Daikai, R., Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. Rainfall-induced Gravity Movement of the Unzen-Fugendake Volcanic Dome Analysis combining Ground-Radar Interferometry and XRAIN Rainfall radar system. *IOP Earth and Environmental Science* 1313, 012026.
- Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2024. SWEModelling of Debris-flow body-sedimentation and Tail-flow Remobilization in a Check-dam Controlled Gully (Unzen Volcano, Japan) using UAV LiDAR, SFM-MVS. *IOP Earth and Environmental Science* 1314, 012065.
- Gomez, C. 2024. Dams Overtopping Scenarios from Catastrophic Landslides in Mountains' Headwaters: Case Study in Kobe City, Japan. *Forum Geografi* 38(1), 1-10.
- Gomez, C., Liu, J., Wu, J., Persendt, F., Bradak, B., Saleh, Y., Hadmoko, D.S. 2023. Improving vegetation spatial distribution mapping in arid and on coastal dune systems using GPR in Tottori Prefecture (Japan). *AUC Geographica* 58, 238-249.
- Bradak, B., Kereszturi, A., Gomez, C. 2023. Tectonic analysis of a newly identified putative cryovolcanic field on Europa. *Advances in Space Research* 79, 4064-4073.
- Dumon, M., Gomez, C., Arnaud-Fassetta, G., Lissak, C., Viel, V. 2023. The Disaster Protection System of Mountainous rivers in Japan: The Example of the Akatani Watershed's Reconstruction. *Sustainability* 15, 15331.
- Bradak, B., Nishikawa, M., Gomez, C. 2023. A theory about a Hidden Evander-Size Impact and the Renewal of the Intermediate Cratered Terrain on Dione. *Universe* 9, 247.
- Siccard, V., Lissak, C., Gomez, C. 2023. From slope instabilities to sedimentary sources: study of the July 5-6, 2017 geomorphic disaster in the Chikugo watershed (Kyūshū, Japan). *Geomorphologie, Relief, Processus, Environnement* 28-4.

(堀田)

- Haruo Mimura, Kohei Hirono, Hiroki Hotta, Reduction of Cypris Larval Settlement on a Flat Plate under Light Emission with a Central Wavelength of 940 nm, *Salt and Seawater Science & Technology*, 2023, 3, 9-10. https://doi.org/10.11457/ssst.4.0_9
- Mayu Ichimura, Kentaro Iwata, Zhichao Wang, Kakeru Go, Atsushi Kajiwara, Hiroki Hotta, Kotaro Katayama, Keiichi Fukushi*, Simple Experiment for Elucidating Capillary Zone Electrophoresis Principles, *Salt and Seawater Science & Technology*, 2024, 4, 11-12. https://doi.org/10.11457/ssst.4.0_11
- Keiichi Fukushi, Jun-ichi Tsujimoto, Hiroki Hotta, Hideo Okamura, Hideyuki Inui, Quantifying Inorganic Phosphate in Salts Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachophoresis, *Salt and Seawater Science & Technology*, 2024, 4, 15-19. https://doi.org/10.11457/ssst.4.0_15
- 堀田弘樹、松本健嗣、電気化学的手法を駆使した天然抗酸剤の作用機序へのアプローチ、*オレオサイエンス*、2023, 23(10), 525-532. <https://doi.org/10.5650/oleoscience.23.525>
- 佐藤聡太郎、松本健嗣、堀田弘樹、辻野義雄、谷村竜一、倉内亮平、竹内一雄、金岡奈美、山本崇裕、マイクロバブルの頭髮洗浄への利用、*毛髪科学*、2023, 130, 3-10.
- 田淵日奈子、片山耕太郎、佐藤聡太郎、松本健嗣、堀田弘樹、辻野義雄、田中良宣、関口博史、井上真理、村田長嗣、2-(2-アミノエチルチオ)コハク酸の毛髪に対する作用、*毛髪科学*、2023, 131, 17-22.

(山地)

- Singh, T, Matsumi, Y, Nakayama T, Hayashida S, Patra, PK, Yasutomi, N, Kajino, M, Yamaji, K, Khatri, P, Takigawa, M, Araki, H, Kurogi, Y, Kuji, M, Muramatsu, K, Imasu, R, Ananda, A, Arbain, AA, Khaiwal, R, Bhardwaj, S, Kumar, S, Mor, S, Dhaka, SK, Dimri, AP, Sharma, S, Singh, N, Bhatti, MS, Yadav, R, Vatta, K, Mor, S.: Very high particulate pollution over northwest

India captured by a high-density in situ sensor network. *Sci Rep* 13(1), DOI:10.1038/s41598-023-39471-1, August 2023, DOI: 10.1038/s41598-023-39471-1

- Horie, Y, Mitsunaga, K, Yamaji, K, Hirokawa, S, Uaciquete, D, Ríos, JM, Yap, CK, Okamura, H: Variability in microplastic color preference and intake among selected marine and freshwater fish and crustaceans, *Discover Oceans* 1(5), March 2024, DOI:10.1007/s44289-024-00005-w

(岩田)

- Iwata T., Aoki K., Miller P. J. O., Biuw M., Williamson, M. J., and Sato K. 2023. Non-lunge feeding behaviour of humpback whales associated with fishing boats in Norway. *Ethology* 130 (2): e13419
- Foster-Dyer R. T. N., Goetz K. T., Pinkerton M. H., Iwata T., Holser R., Michael S. A., Pritchard C., Childerhouse S., Rotella J., and LaRue M. 2023. First observations of sponge foraging by Weddell seals in Erebus Bay, Antarctica. *Polar Biology* 46: 611-621

(牧)

- 牧秀明, 石油・炭化水素, 海洋観測ガイドライン第5版 Vol.10 バックグラウンド汚染物質 2023年6月, Chap.2

(富士)

- 富士恵一, キャピラリー電気泳動法・イオンクロマトグラフィーの分析テクニック法, 2023年12月28日発行, 株式会社技術情報協会, (ISBN: 978-4-86104-993-4)
※担当: 第5章, 第3節, 塩中の無機イオン分析, pp.318-329
- M. Ichihara, K. Iwata, Z. Wang, K. Go, A. Kajiwara, H. Hotta, K. Katayama and K. Fukushi, Simple Experiment for Elucidating Capillary Zone Electrophoresis Principles, *Salt and Seawater Science & Technology*, Volume 4, pp.11-12, 2024. (DOI: 10.11457/ssst.4.0_11)
- K. Fukushi, J. Tsujimoto, H. Hotta, H. Okamura and H. Inui, Quantifying Inorganic Phosphate Using Capillary Zone Electrophoresis with Transient Isotachopheresis, *Salt and Seawater Science & Technology*, Volume 4, pp.15-19, 2024. (DOI: 10.11457/ssst.4.0_15)

(竹谷)

- Ito, A., Miyazaki, Y., Taketani, F., Iwamoto, Y., Kanaya, Y., Marine aerosol feedback on biogeochemical cycles and the climate in the Anthropocene: lessons learned from the Pacific Ocean, *Environmental Science: Atmospheres*, 3, pp.782-798 (2023)
- Ikeda, K., Tanimoto, H., Kanaya, Y., Taketani, F., Matsuki, A., Evaluation of black carbon concentration levels and trends in East Asia from CMIP6 climate models: Comparison to long-term observations in Japan and biases due to Chinese emissions, *SOLA: Scientific Online Letters on the Atmosphere*, 19, pp.239-245, (2023)
- Ueda, S., Iwamoto, Y., Taketani, F., Liu, M., Matsui, H., Morphological features and water solubility of iron in aged fine aerosol particles over the Indian Ocean, *Atmospheric Chemistry and Physics*, 23, pp.10117-10135, (2023)
- Nagashima, K., Kawakami, H., Sugie, K., Fujiki, T., Nishioka, J., Iwamoto, Y., Takemura, T., Miyakawa, T., Taketani, F., Aita, M.N., Asian dust-deposition flux to the subarctic Pacific estimated using single quartz particles, *Scientific Reports*, 13, 15424, (2023)

(ダナンス・スリ・ハッドモコ)

- Hadmoko, D.S., Wibowo, S.B., Sianipar, D.S.J., Daryono, D., Fathoni, M.N., Pratiwi, R.S., Haryono, E., Lavigne, F. Co-seismic deformation and related hazards associated with the 2022 Mw 5.6 Cianjur earthquake in West Java, Indonesia: insights from combined seismological analysis, DInSAR, and

- geomorphological investigations (2024) 11 (1), art. no. 15. DOI: 10.1186/s40677-024-00277-6
- Malawani, M.N., Lavigne, F., Kelfoun, K., Lahitte, P., Hadmoko, D.S., Gomez, C., Wassmer, P., Syamsuddin, S., Faral, A. Large debris avalanche and associated eruptive event at Samalas volcano, Lombok, Indonesia (2024) 86 (3), art. no. 24. DOI: 10.1007/s00445-024-01727-7
 - Faral, A., Lavigne, F., Sastrawan, W.J., Suryana, I.G.P.E., Schrikker, A., Pageh, M., Made, A.D., Kesiman, M.W.A., Malawani, M.N., Hadmoko, D.S. Deadliest natural disaster in Balinese history in November 1815 revealed by Western and Indonesian written sources (2024). DOI: 10.1007/s11069-024-06671-5
 - Malawani, M.N., Lavigne, F., Hadmoko, D.S., Syamsuddin, S., Handayani, L., Sudrajat, Y., Virmoux, C., Saulnier Copard, S., Kusnadi, K. Coastal sedimentation and topographic changes in the Mataram Plain, Lombok (Indonesia) following the 1257 CE eruption of Samalas volcano (2023) 48 (10), pp. 2100-2116. DOI: 10.1002/esp.5592
 - Mustikaningrum, M., Widhatama, A.F., Widantara, K.W., Ibrohim, M., Hibatullah, M.F., Larasati, R.A.P., Utami, S., Hadmoko, D.S. Multi-Hazard Analysis in Gunungkidul Regency Using Spatial Multi Criteria Evaluation (2023) 37 (1), pp. 35-45. DOI: 10.23917/forgeo.v37i1.19041
 - Ikhsan, A.N., Hadmoko, D.S., Widayani, P. Spatial Modeling of Forest and Land Fire Susceptibility Using the Information Value Method in Kotawaringin Barat Regency, Indonesia (2023) 6 (4), art. no. 170. DOI: 10.3390/fire6040170.
 - Hidayat, A., Hadmoko, D.S., Marfai, M.A., Mutaqin, B.W. Volcanic hazard knowledge and preparedness of small island community on the flank of Gamalama volcano Ternate Island–Indonesia (2023) 88 (2), pp. 1251-1263. DOI: 10.1007/s10708-022-10682-9.
 - Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y., Park, J.-H., Tsunetaka, H., Zhang, M., Bradak, B., Hadmoko, D.S., Budi Wibowo, S., Daikai, R., Yoshida, M. Formation Processes of Gully-side Debris-Cones Determined from Ground-Penetrating Radar (Mt. Unzen, Japan) (2023) 209, art. no. 104919, . DOI: 10.1016/j.jappgeo.2022.104919
 - Gomez, C., Liu, J., Wu, J., Persendt, F., Bradak, B., Saleh, Y., Hadmoko, D.S. Improving vegetation spatial distribution mapping in arid and on coastal dune systems using GPR in Tottori Prefecture (Japan) (2023) 58 (2), pp. 238-249. DOI: 10.14712/23361980.2023.18
 - Lavigne, F., Mei, E.T.W., Morin, J., Humaida, H., Moatty, A., de Bélizal, E., Hadmoko, D.S., Grancher, D., Picquout, A. Physical Environment and Human Context at Merapi Volcano: A Complex Balance Between Accessing Livelihoods and Coping with Volcanic Hazards (2023) pp. 45-66. DOI: 10.1007/978-3-031-15040-1_2 .

(チー・コン・ヤップ)

- Chee Kong Yap. 2023. Managing the polluted sites for a sustainable biological coastal ecosystem: Past, Present and Future. Universiti Putra Malaysia Press. (ISBN: 978-629-7590-08-0) pp. 134
- Yap, C.K., Edward, F.B., Syazwan, W.M., Azrizal-Wahid, N., Cheng, W.H., Tan, W.S., Sharifinia, M., Bakhtiari, A.R., Mustafa, M., Okamura, H. and Al-Mutairi, K.A., 2022. Soluble Potentially Toxic Metals (Cu and Pb) in the Different Tissues of Marine Mussel *Perna viridis*: Health Risk Perspectives. In *Marine Biochemistry* (pp. 69-80). CRC Press. [Published in 2023]
- Horie, Y., Mitsunaga, K., & Yap, C. K. (2023). Pyriproxyfen influences growth as well as thyroid hormone-related and gh/igf-1 gene expression during the early life stage of zebrafish (*Danio rerio*). *Comparative Biochemistry and Physiology Part C: Toxicology & Pharmacology*, 269, 109632.
- Yap, Chee Kong, Bin Huan Pang, Wan Hee Cheng, Krishnan Kumar, Ram Avtar, Hideo Okamura, Yoshifumi Horie et al. "Heavy metal exposures on freshwater snail *Pomacea insularum*: Understanding its biomonitoring potentials." *Applied Sciences* 13, no. 2 (2023): 1042.
- Wakid, S. A., Syazwan, W. M., Abd Aziz, N. A., Mustafa, M., Okamura, H., Horie, Y., & Yap, C. K. (2023). Biomonitoring of Benthic Organisms for Coastal Protection: A Checklist Study from

Pantai Remis and Blue Lagoon on the West Coast of Peninsular Malaysia. *Environmental Protection Research*, 294-302.

- Horie, Yoshifumi, Kensuke Mitsunaga, Kazuyo Yamaji, Soichi Hirokawa, Dorcas Uaciquete, Juan Manuel Ríos, Chee Kong Yap, and Hideo Okamura. "Variability in microplastic color preference and intake among selected marine and freshwater fish and crustaceans." *Discover Oceans* 1, no. 1 (2024): 5.
- Yap, Chee Kong, Nur Faradilla Mohd Sabri, Krishnan Kumar, Mohamad Saupi Ismail, Rosimah Nulit, Hideo Okamura, Yoshifumi Horie et al. "A review of the active industrial area at Pasir Gudang area, Johore: Some notes and knowledge gaps." *Sustainable Social Development* 2, no. 2 (2024): 2355.
- Yap, Chee Kong, Tze Yik Austin Hew, Rosimah Nulit, Wan Mohd Syazwan, Hideo Okamura, Yoshifumi Horie, Meng Chuan Ong et al. "Copper in Commercial Marine Fish: From Biomonitoring to the ESG (Environment, Social, and Governance) Method." *Pollutants* 4, no. 1 (2024): 117-135.
- Hew, T.Y.A., Yap, C.K., Azhar, M.E.S., Defifaldy, M., Chew, J.M., Sapawi, D.K.A., Rahman, M.N.A., Ismail, M.S., Wakid, S.A., Syazwan, W.M. and Okamura, H., 2023. Perception of water pollution among Malaysian university students: A case study. *Sustainable Social Development*, 1(2).
- Sapawi, D.K.A., Chew, J.M., Shahidah, D.N., Rahman, M.N.A., Zulkifli, I., Hew, T.Y.A., Ismail, M.S., Wakid, S.A., Syazwan, W.M., Okamura, H. and Horie, Y., Meng Chuan Ong, Ahmad Dwi Setyawan, Krishnan Kumar, Wan Hee Cheng, Chee Kong Yap, 2023. Public perception of flood risks in Klang Valley, Malaysia: A case study. *Sustainable Social Development*, 1(2).
- Abdul Rahman MN, Ismail MS, Wakid SA, Syazwan WM, Abd Aziz NA, Mustafa M, Okamura H, Horie Y, Ong MC, Setyawan AD, Krishnan Kumar, Cheng WH, Chew JM, Yap CK. A Preliminary Checklist of Molluscs in the Kelanang Coast at Banting: An Observational Study. 2023 June 30; 4(6): 1113-1119. doi: 10.37871/jbres1775, Article ID: JBRES1775, Available at: <https://www.jelsciences.com/articles/jbres1775.pdf>
- Yap CK, Yaacob A, Ismail MS, et al. Distributions of Ni and Fe in the different tissues of snail *Faunus ater* and bivalve *Psammotaea elongata*. *Int J Hydro*. 2023;7(3):137–141. DOI: 10.15406/ijh.2023.07.00349
- Chee Kong Yap, Wan Mohd Syazwan, Rosimah Nulit, Muskhazli Mustafa, Chee Wah Yap, Mohamad Saupi Ismail, Wan Hee Cheng, Krishnan Kumar, Mohammed Adana Yusuf, Meng Chuan Ong, Hideo Okamura, Yoshifumi Horie, Ahmad Dwi Setyawan. Correlation coefficients (R-values) as potential indicators of water quality deterioration for the tropical urban lakes." *Int J Hydro* 7, no. 2 (2023): 59-61.

(アディティア・サブトラ)

- Saputra, A., and Gomez, C. 2024. Gemorphology and its process, in Indonesia. Muhammadiyah University Press: Surakarta, Indonesia ※Ongoing book (finalization stage)
- Saputra, A, Surachman, D, Danardono, Amin, C, Sano, N. 2024. Flood susceptibility preparatory mapping in Tegal Regency, Central Java, Indonesia. *Disaster Advances*, 24 April 2024.
- Jumadi, Priyono, KD. Sismi, AT, Saputra, A, Gomez, C. 2024. Multi-Scenarios Tsunami Hazard and Evacuation Routes Using Seismic Data in Pacitan Bay, Indonesia. *International Journal of GEOMATE*, April, 2024 Vol.26, Issue 116, pp.46-53. DOI: <https://doi.org/10.21660/2024.116.4314>

海事輸送工学研究部門

(笹)

- 竹内海智、笹 健児：外洋に面した海洋の波浪情報を用いた海洋構造物の安全かつ効率的な運用に関する一考察、日本航海学会論文集、第148号、pp.18-26、2023年7月
- Sasa, K., Lee, S.W., Shimada, R., Takagaki, T., and Terada, D., “Safety Evaluation of Lashed Trailer Motions in Ferry Operations under Rough Sea Conditions”, Ocean Engineering, Vol.275, 114114, pp.1-19, May, 2023
- Balas, M., Prpić-Oršić, J., Valčić, M., and Sasa, K., “Assessing the Accuracy of Ship-Based Sea State Measurements using Statistical Correlation Analysis and Hindcast Wave Databases”, Proceedings of the 16th Baska GNSS Conference, pp.177-180, May, 2023
- Lee, S.W., Masagaki, T., Sasa, K., and Chen, C., “Correlation Analysis among Weather Factors Under Rough Sea Voyage”, Proceedings of the 16th Baska GNSS Conference, pp.171-176, May, 2023
- Sasa, K., Lee, S.W., Kita, T., and Hirayama, K., “Ocean Wave Estimation and Comparison by Ship Radar”, Proceedings of the 16th Baska GNSS Conference, pp.181-186, May, 2023

(内田)

- Adi Mas Nizar, Takashi Miwa, Makoto Uchida, Examining situational awareness, trust in automation, and workload in engine resources management: an evaluation of head-worn display technology, WMU Journal of Maritime Affairs, 2023.6
- 中村真澄, 松永直也, 山下訓史, 中根教道, 中田禅, 三輪誠, 内田誠, Study on Operational Methods for Remote Control System of Ship-Land Intercommunication, 日本マリンエンジニアリング学会第93回学術講演会講演論文集, 2023.9
- 石田達朗, 佐藤更, 三輪誠, 内田誠, Study on Quantitative Evaluation Method for Engine-room Resource Management, 日本マリンエンジニアリング学会第93回学術講演会講演論文集, 2023.9
- 中村光我, 石田達朗, 内田誠, Improving Universality of Non-Technical Skills' Evaluation in Marine Engine Plant Operation and Management, 日本マリンエンジニアリング学会第93回学術講演会講演論文集, 2023.9

(元井)

- Masato Kobayashi, Naoki Motoi, BSL: Navigation Method Considering Blind Spots Based on ROS Navigation Stack and Blind Spots Layer for Mobile Robot, IEEE Transactions on Industry Applications, 2023
- Masato Kobayashi, Hiroka Zushii, Tomoaki Nakamura, Naoki Motoi, Local Path Planning: Dynamic Window Approach with Q-learning Considering Congestion Environments for Mobile Robot, IEEE Access, 2023
- Tomoaki Nakamura, Masato Kobayashi, Naoki Motoi, Path Planning for Mobile Robot Considering Turnabouts on Narrow Road by Deep Q-Network, IEEE Access, 2023
- Naoki Motoi, Taiga Okada, Masato Kobayashi, Experimental Verification of Underwater 2-ch Bilateral Controller with Disturbance Observer, 2023 IEEE International Workshop on Metrology for the Sea; Learning to Measure Sea Health Parameters (MetroSea), 2023.10
- Masato Kobayashi, Hiroka Zushi, Tomoaki Nakamura, Naoki Motoi, DQDWA: Dynamic Weight Coefficients Based on Q-learning for Dynamic Window Approach Considering Environmental Situations, IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM), 2023.6

- Takahiro Tsubaki, Masato Kobayashi, Yoshihiro Ueda, Naoki Motoi, Validity Verification of Frequency Modification Method in Bilateral Control, 電気学会論文誌C, 2024.1

(三輪)

- Peggy Shu-Ling Chen, Hongjun Fan, Hossein Enshaei, Wei Zhang, Wenming Shi, Nagi Abdussamie, Takashi Miwa, Zhuohua Qu, Zaili Yang, A review on ports' readiness to facilitate international hydrogen trade, International Journal of Hydrogen Energy, 2023.5
- Adi Mas Nizar, Takashi Miwa, Makoto Uchida, Examining situational awareness, trust in automation, and workload in engine resources management: an evaluation of head-worn display technology, WMU Journal of Maritime Affairs, 2023.6

(陳辰)

- 尹振寿, 王明, 尚凡葵, 陳辰 共著, 海洋环境监测数据信息管理技术与实践 (日本語訳: 海洋環境モニタリングデータの情報管理技術と実践) (陳辰担当箇所: 第3、5、6、7章, 国際海洋環境モニタリングデータ情報管理概要、海洋環境モニタリングデータ内容、海洋環境モニタリングデータ標準化方法、海洋環境モニタリングデータ品質管理方法pp.22-104), 中国海洋大学出版社, 2023年10月, (ISBN: 978-7-5670-3261-3)

(牧)

- Atsuo Maki, Yuuki Maruyama, Leo Dostal, Kenji Sasa, Ryohei Sawada, Kouki Wakita, Practical method for evaluating wind influence on autonomous ship operations (2nd Report), Journal of Marine Science and Technology, under review, 2023

3.5 研究発表

国際海事政策科学研究部門

(ルックス)

- Matthew Rooks, Investigating Actual Use of SMCPs in VHF Communications: Assessment and Implications for MET, International Maritime Science Conference 2023, 2023.5
- Rooks, Matthew, Implementing new vocabulary learning strategies, 英語4技能育成のための特別講座講, 2023.7
- Matthew Rooks, Developing Presentation and Speech Skills for STEM Students, 姫路四季彩高等の英語教育研究会, 2023.10

(中原)

- 中原裕幸, 洋上風力発電と漁業—サケふ化放流事業との関係を含めて—, 洋上風力発電に係る内水面漁業者・鮭人工孵化事業者講演会, 山形県自治会館202会議室, 主催: 山形県, 山形, 2023.9.26
- 中原裕幸, 洋上風力発電と漁業協調について, 第2回洋上風力発電に関する研究会, 薩摩川内市役所本庁601会議室, 主催: 鹿児島県, 2023.11.17
- 中原裕幸, 洋上風力発電と漁業, 洋上風力発電等の新しい海洋開発における法制度及び政策的論点 (完全オンライン方式Web講演会), 主催: 日本船舶海洋工学会東部支部, 2023.12.13

(工藤)

- 工藤栄介, 衛星VDESの社会実装に向けた有益性実証について, 海洋政策学会第15回年次総会, 東京, 2023.12.2

(羽原)

- ・羽原敬二, 「内航船舶管理業における安全管理と対応」, 内航海運セミナー「内航海運における今後の船舶管理業務について」, 三井住友海上火災保険株式会社 駿河台新館4F402, 東京, 2023.10.23
- ・羽原敬二, 「海事産業の強化に向けた海事人材の確保・育成」, 第33回海事立国フォーラム2024「海事産業の強化を展望する」, 海運ビル国際ホール, 主催: 公益財団法人日本海事センター, 後援: 国土交通省, 東京, 2024.2.19

(関根)

- ・関根博, 海運実務研修講座「新人社員研修」, 一般社団法人日本海運集会所, 東京, 2023.4.17
- ・関根博, 海運実務研修講座「新人社員研修」, 一般社団法人日本海運集会所, 東京, 2023.5.9
- ・関根博, 海運実務研修講座「新人社員研修」, 一般社団法人日本海運集会所, 東京, 2023.5.15
- ・関根博, 海運実務研修講座「新人社員研修」, 一般社団法人日本海運集会所, 東京, 2023.6.6
- ・関根博, 海運実務研修講座「新人社員研修」, 一般社団法人日本海運集会所, 東京, 2023.10.17

(長谷部)

- ・長谷部正道, 海運における市場原則に従ったCO₂削減措置の概要と見通し, 神戸海難防止研究会, 2023.4.20
- ・長谷部正道, 海洋の温暖化と水産・水産加工業への影響, 一般社団法人内外情勢調査会小田原支部懇談会, 神奈川県, 2023.5.19
- ・長谷部正道, グリーン産業をめぐる世界の争奪戦, 一般社団法人内外情勢調査会大分支部懇談会, 大分県, 2023.6.29
- ・長谷部正道, 企業に脱炭素がなぜ必要か, 西日本新聞社二水会, 2023.9.13
- ・長谷部正道, 企業になぜ脱炭素が必要か/エネルギー転換が必要な5つの理由, 一般社団法人内外情勢調査会平塚支部, 神奈川県, 2024.1.15

輸送システム科学研究部門

(齋藤)

- ・川口和晃, 齋藤勝彦, 破損部位の減衰特性が損傷境界曲線に与える影響, 第32回日本包装学会年次大会, 2023.7
- ・藤本大輝, 齋藤勝彦, マルチボディダイナミクスを用いたトラック荷台振動シミュレーション, 第32回日本包装学会年次大会, 2023.7
- ・貞本純杏, 齋藤勝彦, 振動外力による段ボール箱圧潰量と蓄積疲労の関係, 第32回日本包装学会年次大会, 2023.7
- ・貞本純杏, 齋藤勝彦, 振動外力による段ボール箱の圧潰について, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023.12
- ・上原雅史, 千田詠介, 齋藤勝彦, 新旧JIS包装貨物・振動試験による包装内容物損傷比較, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023.12
- ・千田詠介, 齋藤勝彦, 輸送包装振動試験の新しい手法と可能性について, 第61回全日本包装技術研究大会, 2023.12

(西村)

- ・Yufeng GUO, Takuma MATSUDA, Etsuko NISHIMURA, Multi-criteria location analysis for emergency distribution center in preflood of Kanto district, 第67回土木計画学研究発表会, 2023.6
- ・Koichi Shintani, Ken'ichiro Nagaiwa, Etsuko Nishimura, Empty container repositioning using foldable containers inland transportation: Trade-off between bundled tiers and waiting time, The 13th International Conference on Logistics and Transport 2023, 2023.9
- ・Etsuko Nishimura, Naoto Mizuta, Vehicle dispatch problem with chassis pool use for inland

marine container transport, 2023 IEEE International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management, 2023.12

(上田)

- 上田好寛, Mathematical analysis for the viscous Burgers equation with time delay, 九州関数方程式セミナー, 九州大学, 2023.6.
- 上田好寛, Linear stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with time delay, One day workshop on Nonlinear wave equations, 北海道大学, 2023.7.
- Yoshihiro Ueda, Stability of stationary solutions for viscoelastic fluids in half space, Recent Progress on Mathematical Fluid Dynamics, Jeju Shinhwaworld, Korea, 2023. 7.
- Yoshihiro Ueda, Stability theory for the linear symmetric hyperbolic system with general relaxation, ICIAM 2023 TOKYO, Waseda University, Japan, 2023.8.
- Yoshihiro Ueda, Linear stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with delay effect, An afternoon on delay differential equations, Gran Sasso Science Institute(GSSI), Italy, 2023. 10.
- Yoshihiro Ueda, Stability theory for the linear symmetric hyperbolic system with general relaxation, Analysis, modeling and numerical method for kinetic and related models, University of Bordeaux, France, 2023. 11.
- 上田好寛, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with a delay effect, Workshop on Analysis in Kagurazaka 2024, 東京理科大学, 2024. 1.
- Yoshihiro Ueda, Stability of non-zero equilibrium states for the viscous Burgers equation with time delay, Workshop on PDE Week-Kinetic and Related Topics, The Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong, 2024. 2.

(新谷)

- Shintani, K., Nagaiwa, K., Nishimura, E., "Empty container repositioning using foldable containers in land transportation: Trade-off between bundles tiers and waiting time", The 13th International Conference of Logistics & Transport 2023, September, 2023.

(北澤)

- Kotobuki, N., Shirato, T., Ciptaningtyas, D., Benyakar, N., Umehara, H., Kitazawa, H., Watanabe, T., Thammawong, M., Shiina, T., "A proposal of the optimal sampling interval for shock pulse measurement" The VII International Conference Postharvest Unlimited, Wageningen, The Netherlands, May, 2023.
- 北澤裕明, 食品ロス削減における包装の役割と今後の展開, 食品品質保持技術研究会第1回講演会, 招待講演, 主婦会館ブラザエフ, 東京都千代田区, 2024.3.26

(川口)

- 川口和晃, 斎藤勝彦, 破損部位の減衰特性が損傷境界曲線に与える影響, 日本包装学会第32回年次大会, オンライン開催, 2023.7.20-21
- 川口和晃, 友藤喜章, 宮下潤, 鉄道輸送とトラック輸送の比較, 日本包装学会第32回年次大会, オンライン開催, 2023.7.20-21
- 川口和晃, 友藤喜章, 宮下潤, 鉄道輸送データに基づく方向別ランダム振動試験のためのパワースペクトル密度, 第61回全日本包装技術研究大会, 日本包装技術協会, 奈良, 2023.12.7-8
- 新山貴久, 川口和晃, 包装貨物ランダム振動試験における適正試験条件に関する一考察, 第61回全日本包装技術研究大会, 日本包装技術協会, 奈良, 2023.12.7-8

(三重野)

- 三重野紘央, 船底防汚塗料の最新情報と防汚塗料に関わる情報技術の活用, 第497回月例懇談会, 海洋水産システム協会, 東京, 2024年9月
- 任旭, 三重野紘央, 清水信行, 池淵卓郎, 戸田保幸, ペイント粗面を持つ模型船の抵抗試験に関する1考察(続報)(2012年の講演論文の続き: NMRI CMPの2つのスケールのdataによる), 日本船舶海洋工学会 第27回推進・運動性能研究委員会, 今治, 2024年3月

海洋システム科学研究部門

(岡村)

- ・岡村秀雄 (2023) 海を浮遊する人工微粒子 - マイクロプラスチックである防汚塗料粒子. 水産研究・教育機構 水産技術研究所 令和5年度漁場環境保全関係研究開発推進会議有害物質研究会. 水産技術研究所廿日市庁舎会議室. 2023年11月14日 (招待講演)
- ・岡村秀雄 (2023) 海で使用される化学物質の生態リスク. 生物化学的測定研究会第28回学術シンポジウム. 神戸大学. 2023年11月3日 (招待講演)
- ・岡村秀雄, 周密, 堀江好文 (2023) 大阪湾の海表面マイクロ層の重金属を含む微粒子. シンポジウム 船底防汚物質と海洋環境保全. 第93回マリンエンジニアリング学術講演会講演論文集 pp.119-122. 神戸大学海事科学部. 2023年9月20日 (招待講演)
- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 (2023) 光スイッチ型生分解性樹脂の実海域における分解性評価. 第72回高分子討論会. 香川大学. 2023年9月27日
- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 日野彰大, 岡村秀雄, 井川聡, 中山敦好 (2023) 光増感剤を用いた光スイッチ型海洋生分解性プラスチックの抗菌活性評価. 防菌防黴学会 第50回年次大会. 千里ライフサイエンスセンター. 2023年8月29, 30日
- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 (2023) 光スイッチ型生分解性プラスチックの評価方法の検討. 瀬戸内海研究フォーラムin山口. 山口大学吉田キャンパス. 2023年8月26,27日
- ・堀江好文, 野村美帆, 岡村秀雄 (2023) 非フタル酸系可塑剤ATBCがニホンメダカの内分泌系に与える影響. 第2回 環境化学物質3学会合同大会. あわぎんホール、徳島. 2023年5月30日-6月2日

(ゴメス)

- ・ R Daikai, C Gomez, N Hotta, Y Shinohara 2024 Rainfall-induced Gravity Movement of the Unzen-Fugendake Volcanic Dome Analysis combining Ground-Radar Interferometry and XRAIN Rainfall radar system ICERM Conference.
- ・ C Gomez, N Hotta, Y Shinohara, 2024. SWE Modelling of Debris-flow body-sedimentation and Tail-flow Remobilization in a Check-dam Controlled Gully (Unzen Volcano, Japan) using UAV LiDAR, SfM-MVS. ICERM 2024.
- ・ R Daikai, C Gomez, N Hotta, Y Shinohara. 2024. Uncertainty in measuring the role of climate change on debris-flow triggering on volcanoes-bulk-density, temperature and moisture analysis at Unzen Volcano (Japan). ICERM 2024.
- ・ C Gomez, M Shimizu, H Kinoshita. 2023. Large wood remobilization in Asakura (North Kyushu, Japan): Adapting strategies to climate change and rural population depletion ICERM 2024.
- ・ V Siccard, EE Cossart, C Lissak, M Dumont, C Gomez. 2024. Mutations morphologiques et anthropiques associées aux pluies torrentielles du 5-6 juillet 2017 dans des hydrosystèmes montagnards au nord de Kyûshû (Japan)VIIIe Colloque de l'Association Francophone de Géographie Physique (AFGP).
- ・ M Dumont, G Arnaud-Fassetta, C Gomez, C Lissak, V Viel, 2023. From the Hydroclimatic Disaster to the Forced (Re) construction: Case Study of the Akatani Watershed in Japan. Proceedings 87 (1), 42
- ・ V Siccard, A Barra, O Navratil, V Gaertner, F Perret, C Gomez. 2023. Mon Outil de recherche: Dosharyû (土砂流), le modèle réduit en laboratoire pour décrypter les signaux sédimentaires des petits bassins versants torrentiels japonais. Congrès doctoral des journées annuelles EVS.
- ・ R Daikai, C Gomez, B Bradak, N Hotta, Y Shinohara. 2023. Relationship between Precipitation Just above the Lava Dome and Displacement of the Dome Using X-Band MP Radar at Unzen Fugendake. Proceedings 87 (1), 30

- C Gomez, N Hotta, S Miyata, B Bradak, M Kataoka, K Ashikaga, et al., 2023. Detection and Velocimetry of Floating Wood for Flood Disaster Risk Management Using Electromagnetic Imaging. Proceedings 87 (1), 1
- B Bradak, J Kimura, C Gomez. 2023. Introduction to Diones Wispy Terrain, as a Putative Model Region for Wilson-Cycles on Icy Satellites. LPI Contributions 2806, 1178.
- R Novak, B Bradak, J Kovacs, C Gomez. 2023. In Search for Potential Surface Ocean Proxies Among Exoplanetary Parameters. LPI Contributions 2806, 1975.
- Bradak, B., Kimura, J., Gomez, C., Novak, R. 2023. A putative model region for Wilson-cycles on icy satellites: Dione's Wispy Terrain. JPGU PPS01-P08.
- Noval, R., Bradak, B., Kovacs, J., Gomez, C. 2023. Searching for exoplanets with oceans: The ExTerrO initiative. JPGU 2023, PEM11-P06.
- Daikai, R., Gomez, C., Hotta, N., Shinohara, Y. 2023. Relationship between precipitation just above the lava dome and displacement of the dome at Unzen Fugendake. JPGU 2023, HTT13-02.
- Gomez, C., Purdie, H. 2023. Sediment Transfer Rates post-Deglaciation on New-Zealand Alpine Fans – Field data, Laboratory and Numerical Simulations. JPGU 2023, HTT13-03.

(堀田)

- 佐藤聡太郎、田渕日奈子、松本健嗣、関口博史、堀田弘樹、辻野義雄、新規縮毛矯正物質による毛髪内部構造の変化、第83回分析化学討論会、2023.5.20-21、富山大学。
- 松本健嗣、佐藤聡太郎、田渕日奈子、渡邊泰之、松浦吉晃、伊藤慎吾、辻野義雄、堀田弘樹、新規化粧品素材「グアニルシステイン」の基礎物性、第83回分析化学討論会、2023.5.20-21、富山大学。
- 北川維人、菅野宙依、松本健嗣、大塚利行、辻野義雄、堀田弘樹、天然抗酸化剤カフェイン酸の紫外線照射下における酸化反応機構の研究、第83回分析化学討論会、2023.5.20-21、富山大学。
- 菅野宙依、堀田弘樹、松本健嗣、杉原崇康、安田政治、電気透析を用いたアルカリ金属イオン水溶液からのLi+回収について、第83回分析化学討論会、2023.5.20-21、富山大学。(注目講演、展望とトピックスに選出)
- 喜多佑輔、橋本陸央、桑原知彦、松本健嗣、堀田弘樹、飯山真充、高柳俊夫、水口仁志、トラックエッチ膜フィルターを用いた四重電極検出器でのフェノール化合物の検出挙動、第83回分析化学討論会、2023.5.20-21、富山大学。
- 福士恵一、乾秀之、岡村秀雄、堀田弘樹、キャピラリーゾーン電気泳動法による塩中ヨウ化物およびヨウ素酸イオン同時定量、2023年度日本海水学会第74年会研究技術発表会、2023.6.8-9、：日本大学生産工学部津田沼校舎（2022年度最優秀論文賞受賞受賞講演）
- 佐藤聡太郎、片山耕太郎、田渕日奈子、山田杏樹、池内亮太、宮本紘幸、松本健嗣、堀田弘樹、辻野義雄、髪質改善素材の開発研究に関わる分析化学、近畿支部創設70周年記念式典、大阪工業大学梅田キャンパスOIT梅田タワー3階常翔ホール、2023.6.24。
- 菅野宙依、電気透析を用いたアルカリ金属イオン水溶液からのLi+回収について、第17回近畿支部夏季セミナー、2023.8.7-8、アイ・アイ・ランド。
- 菅野宙依、松本健嗣、北川維人、辻野義雄、大塚利行、堀田弘樹、サイクリックボルタンメトリーによる抗酸化剤の有機ラジカル捕捉反応過程の追跡、日本ポリフェノール学会第16回学術集会、2023.8.31、つくば国際会議場中ホール300。
- 山田杏樹、佐藤聡太郎、堀田弘樹、辻野義雄、中川充、懸橋理枝、望月佑次、蛍光色素を用いた毛髪の表面状態の観察、日本分析化学会第72年会、2023.9.15、熊本城ホール。
- 用正明輝、谷嵐正之、堀田弘樹、角田欣一、福士恵一、乾秀之、LC-MSによる高感度フッ化物イオン定量法の開発、日本分析化学会第72年会、2023.9.15、熊本城ホール。

- ・田淵日奈子、片山耕太郎、佐藤聡太郎、松本健嗣、堀田弘樹、辻野義雄、田中良宣、関口博史、井上真理、村田長嗣、有機酸-アミン複合体を用いた縮毛矯正とその毛髪の物性評価法に関する研究、日本分析化学会第72年会、2023.9.15、熊本城ホール。
- ・（依頼講演）堀田弘樹、化粧品開発のための毛髪表面観察、膜工学秋季講演会・膜工学サロン、2023.9.29、神戸大学工学研究科
- ・片山耕太郎・宮本紘幸・堀田弘樹・山崎祥子・田中良宣・辻野義雄、毛髪トリートメント効果を有する有機酸とアミンの新規化合物合成、第13回CSJフェスタ、2023.10.17-19、タワーホール船堀。
- ・齋藤真輝、枝和男、堀田弘樹、大塚利行、松本健嗣、新規の α -Keggin Keggin型イソポリタングステートの研究、第69回ポーラログラフィーおよび電気分析化学討論会、2023.10.25-26、福江文化会館。
- ・北川維人、菅野宙依、松本健嗣、辻野義雄、大塚利行、堀田弘樹、カフェイン酸の光異性化に伴う抗酸化活性の変化、第69回ポーラログラフィーおよび電気分析化学討論会、2023.10.25-26、福江文化会館。
- ・菅野宙依、前多香穂、松本健嗣、安田政治、杉原崇康、堀田弘樹、電気透析とイオン交換樹脂を用いたLi⁺回収、第69回ポーラログラフィーおよび電気分析化学討論会、2023.10.25-26、福江文化会館。
- ・喜多佑輔、橋本陸夫、桑原知彦、松本健嗣、堀田弘樹、飯山真充、高柳俊夫、水口仁志（トラックエッチ膜フィルター電極を用いたアノード・カソードペア検出によるHPLCシステム、第59回フローインジェクション分析講演会、2023.11.24、とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター））。
- ・（依頼講演）堀田弘樹、ESI-MSを用いた微量元素定量手法の開発、第59回フローインジェクション分析講演会、とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）、2023.11.24。
- ・（依頼講演）堀田弘樹、エレクトロスプレーイオン化質量分析法を用いた微量元素定量分析手法の開発、東ソー分析センター講演会、2023.12.13、東ソー分析センター本社。
- ・片山耕太郎・宮本紘幸・堀田弘樹・山崎祥子・田中良宣・辻野義雄、毛髪トリートメント効果を有する有機酸とアミンの新規化合物合成、神戸大学研究基盤センター若手フロンティア研究会2023、2023.12.26、神戸大学百年会館。
- ・谷嵐正之、孟広治、中野竜平、堀田弘樹、角田欣一、紀本岳志、赤外光導波路を用いた溶存二酸化炭素の検出の試み、日本化学会第104春季年会、2024.3.18-21、日本大学船橋キャンパス。・ 蔦保侑樹、小嶋康詞、堀田弘樹、辻野義雄、針葉樹チップ発酵熟成堆肥より得た腐植物質の抗酸化活性評価、日本化学会第104春季年会、2024.3.18-21、日本大学船橋キャンパス。
- ・片山耕太郎、宮本紘幸、望月佑次、新菜摘、山崎祥子、堀田弘樹、辻野義雄、毛髪トリートメント効果を有する有機酸とアミンの新規化合物合成、日本化学会第104春季年会、2024.3.18-21、日本大学船橋キャンパス。

(山地)

- ・山地一代、デリー首都圏および周辺地域におけるPM2.5濃度上昇を対象とした数値解析。九州大学応用力学研究所研究集会 第7回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会。2024年3月14日、春日
- ・Fumikazu TAKEANI, Kazuhiko MATSUMOTO, Takashi SEKIYA, Kazuyo YAMAJI, Yugo KANAYA, Influence of Atmospheric Nitrogen Nutrient Dry and wet Deposition on Surface Primary Productivity at the subtropical western North Pacific. Ocean Sciences Meeting (OSM) 2024, 2024年3月18-23日, New Orleans ・ 亀井瑛世, 山地一代, Ocean Sciences Meeting (OSM)

NASA ATom 航空機観測よりみられるBCの分布特性について. 2023年度大気環境学会近畿支部研究発表. 2023年12月26日, 大阪

- 辻彩弥加, 山地一代, 林田佐智子, 梶野瑞王, Tanbir Singh, 松見豊, 中山智喜, 荒木晶, 安富奈津子, Prabir K. Patra, Aakashプロジェクトメンバーデリー, 首都圏におけるPM2.5濃度上昇とインド北西部の稲藁焼きの関連性, 2023年度 大気環境学会近畿支部研究発表会. 2023年12月26日, 大阪
- Phuc Thi Minh Ha, Yugo Kanaya, Kazuyo Yamaji, Takashi Sekiya, Maria Dolores, Andrés Hernández, John Philip Burrows, Hans Schlager, Michael Lichtenstern, Mira L. Pöhlker, Bruna A. Holanda, EMeRGe-Asia science team, Insights into China's Black Carbon, CO, and CO2 Emissions from Integrated Analysis of the Regional Air Quality Model (CMAQ) and EMeRGe-Asia Aircraft Observations during Early Spring 2018, AGU23, 2023年12月16日, San Francisco
- 松見豊, 中山智喜, Tanbir Singh, 荒木晶, 安富奈津子, 林田佐智子, 梶野瑞王, 山地一代, Prabir K. Patra, Aakashプロジェクトメンバー, PM2.5, CO, O3, NOxの小型大気観測器の開発とインドでの稲わら焼きの広域の大気環境影響のネットワーク観測. 第28回大気化学討論会(2023). 2023年11月20日, 長崎
- 中山智喜, 松見豊, Tanbir Singh, 荒木晶, 安富奈津子, 林田佐智子, インド北西部での稲わら焼き起源PM2.5の二次生成過程の解明. 第28回大気化学討論会(2023). 2023年11月20日, 長崎
- 西部北太平洋亜熱帯海域における大気栄養塩供給の海洋表層基礎生産への影響評価 竹谷文一, 松本和彦, 山地一代, 関谷高志, 金谷有剛 第28回大気化学討論会(2023) 2023年11月20日
- Phuc T. M. Ha, Yugo Kanaya, Kazuyo Yamaji, Takashi Sekiya, Maria Dolores, Andrés Hernández, John Philip Burrows, Hans Schlager, Michael Lichtenstern, Mira Poehlker, Bruna Holanda, EMeRGe-Asia science team, An integrated analysis of the Regional Air Quality Model (CMAQ) and EMeRGe-Asia aircraft observations during early spring 2018 provides information on China's black carbon, CO, and CO2 emissions. 第28回大気化学討論会(2023). 2023年11月20日, 長崎
- 山地一代, 林田佐智子, 梶野瑞王, Tanbir Singh, 松見豊, 中山智喜, 荒木晶, 安富奈津子, Prabir K. Patra, Aakashプロジェクトメンバー, インド北西部の藁焼きによる深刻な大気汚染状況のモデル解析. 第28回大気化学討論会(2023). 2023年11月20日, 長崎
- 湯浅玲奈, 山地一代, 茶谷聡, 嶋寺光, 板橋秀一, 櫻井達也, 金谷有剛, 小粒子状物質成分測定との比較によるブラックカーボン濃度のモデル再現性について. 第64回 大気環境学会年会. 2023年9月13日, つくば
- 山地一代, 湯浅玲奈, 茶谷聡, 嶋寺光, 板橋秀一, 櫻井達也, 大気質モデル間相互比較実験に基づく二次生成粒子濃度のモデル予測性能の評価. 第64回大気環境学会年会. 2023年9月13日, つくば
- Kazuyo Yamaji, Tanbir Singh, Sachiko Hayashida, Natsuko Yasutomi, Hikaru Araki, Mizuo Kajino, Prabir K. Patra, Masayuki Takigawa, Yutaka Matsumi, Tomoki Nakayama, Aakash project science team, NUMERICAL ANALYSIS OF THE HEAVILY AIR POLLUTIONS POST HARVEST OVER NORTH-WEST INDIA BY USING REGIONAL MODEL. CMAS-Asia-Pacific. 2023年7月20日, 埼玉
- Phuc Thi Minh Ha, Yugo Kanaya, Kazuyo Yamaji, Syuichi Itahashi, Takashi Sekiya, Maria Dolores, Andrés Hernández, John Philip Burrows, Mira Poehlker, Bruna Holanda, Hans Schlager, Michael Lichtenstein, EMeRGe-Asia science team, PERFORMANCE COMPARISON OF THE REGIONAL AIR QUALITY MODEL CMAQ WITH PHOTOCHEMICAL GRID MODEL CAMx DURING THE EMERGE-ASIA AIRCRAFT OBSERVATIONS IN SPRING 2018. CMAS-Asia-Pacific. 2023年7月19日, 埼玉

- Phuc Thi Minh Ha, Yugo Kanaya, Takashi Sekiya, Kazuyo Yamaji, Andrés Maria Dolores Hernández, John Philip Burrows, Helmut Ziereis, Paul Stock, Hans Schlager, Michael Lichtenstern, Mira Poehlker, Bruna Holanda, EMERGe-Asia science team, Performance evaluation of the Regional Air Quality Model CMAQ during the EMERGe-Asia aircraft observations in spring 2018. Japan Geoscience Union Meeting 2023, 2023年5月23日, 幕張
- Koto Sugimoto, Kazuyo Yamaji, Assessing the potential impact due to the sea surface temperature changes on the heavy rainfall event in July, 2018. Japan Geoscience Union Meeting 2023, 2023年5月22日, 幕張
- Kyoma Yahara, Tomoki Nishiyama, Kazuyo Yamaji, Fumikazu Taketani, Masayuki Takigawa, Yugo Kanaya, Controlling factors of temporal variations of black carbon concentration over the Arctic region Japan. Geoscience Union Meeting 2023. 2023年5月22日, 幕張
- Fumikazu Taketani, Kazuhiko Matsumoto, Takashi Sekiya, Kazuyo Yamaji, Yugo Kanaya, Impact of Atmospheric Nitrogen Nutrient Dry Deposition on Surface Primary Productivity over the subtropical western North Pacific, Japan Geoscience Union Meeting 2023. 2023年5月21日, 幕張
- Kanaya Y, Yamaji K, Miyakawa T, Taketani F, Zhu C, Choi Y, Ikeda K, Tanimoto H, Yamada D, Narita D, Kondo Y, Klimon, Long-term black carbon observations on Fukue Island, Japan revealed rapid emission reduction from China and dominance of residential sector 10th International Conference on Acid Deposition, ACID RAIN 2020, 2023年4月17-21日, 新潟

(岩田)

- Lv M., Aoki K., Iwata T., Miller P. J. O. and Sato K. Time-series Data Analysis of Humpback Whale Behaviors and Surrounding Environments: Factors Affecting Foraging Behaviors. 令和6年度日本水産学会春季大会. 東京, 2024年3月
- Iwata T., Goetz K., Foster-Dyer R., Pinkerton M., Holser R., Michael S., Takahashi A., Pritchard C., Childerhouse S., Aoki K. and Sato K. The detailed foraging behaviour of Weddell seals revealed by animal-borne accelerometer and video. The eighth International Science Symposium on Biologging. Tokyo, Japan (March 2024)
- Lv M., Aoki K., Iwata T., Miller P. J. O. and Sato K. Adaptation of the automatic detection algorithm for lunge feeding events of humpback whales. The eighth International Science Symposium on Biologging. Tokyo, Japan (March 2024)
- Sato K., Watanabe S., Noda T., Koizumi T., Yoda K., Watanabe Y., Sakamoto K. Q., Isokawa T., Yoshida M. A., Aoki K., Takahashi A., Iwata T., Nishizawa H., Maekawa T., Kawabe R. and Watanuki Y. The eighth International Science Symposium on Biologging. Tokyo, Japan (March 2024)
- 橋本渚, 木谷亮太, 岩田高志, 源利文. 大阪湾におけるスナメリの分布解明. 第6回環境DNA学会九州大会. 福岡, 2023年12月
- 大谷健太郎, 谷口真理, 竹田正義, 岩田高志. 加速度記録に基づく飼育下のクサガメ・アカミミガメの産卵行動の検知. 日本爬虫両棲類学会第62回大会. 千葉, 2023年12月
- 松本大一, 小川真由, 木村里子, 岩田高志. 大阪湾北西部における受動的音響モニタリングを用いた小型鯨類の来遊調査. 日本動物行動学会第42回大会. 京都, 2023年11月
- 横倉辰之介, 高木香里, 岡田純, 岩田高志. オオサンショウウオの行動生態研究へバイオロギングの導入と取得したデータの検証. 日本動物行動学会第42回大会. 京都, 2023年11月
- 橋本渚, 岩田高志, 源利文. 環境DNA分析を用いた大阪湾におけるスナメリ分布およびホットスポットの解明. 日本哺乳類学会2023年度大会, 沖縄, 2023年9月

- ・岩田高志, Goetz K., 高橋晃周, Holser R., Michael S., Pinkerton M., 青木かがり, 佐藤克文. 仔の成長に合わせた授乳期間中のウェッデルアザラシの採餌行動. 日本哺乳類学会2023年度大会, 沖縄, 2023年9月
- ・ Hashimoto N., Iwata T., Minamoto T. Distribution of finless porpoise (*Neophocaena asiaeorientalis*) in Osaka Bay, Japan using eDNA analysis. The eDNA Society International Meeting 2023. Shiga (May 2023)

(富士)

- ・用正明輝, 谷嵐正之, 堀田弘樹, 角田欣一, 富士恵一, 乾秀之 LC-MSによる高感度フッ化物イオン定量法の開発, 日本分析化学会第72年会, 熊本県 (熊本城ホール), 2023.9.15.

(角田)

- ・谷嵐正之, 孟広治, 中野竜平, 堀田弘樹, 角田欣一, 紀本岳志 赤外光導波路を用いた溶存二酸化炭素の検出の試み, 日本化学会第104春季年会, 千葉県 (日本大学船橋キャンパス), 2024.3.18-21

(竹谷)

- ・ Kanaya, Y., Yamaji, K., Miyakawa, T., Taketani, F., Zhu, C., Choi, Y., Ikeda, K., Tanimoto, H., Yamada, D., Narita, D., Kondo, Y., Klimont., Long-term black carbon observations on Fukue Island, Japan revealed rapid emission reduction from China and dominance of residential sector, Acid Rain 2020 Niigata, Japan, April 2023
- ・ Taketani, F., Matsumoto, K., Sekiya, T., Yamaji, K., Kanaya, Y., Influence of Atmospheric Nitrogen Nutrient Dry and Wet Deposition on Surface Primary Productivity at the Subtropical Western North Pacific AGU Ocean Sciences Meeting 2024, New Orleans, USA, February 2024
- ・矢原京馬, 西山朋輝, 山地一代, 竹谷文一, 滝川雅之, 金谷有剛, Controlling factors of temporal variations of black carbon concentration over the Arctic Region, 日本地球惑星科学連合2023年大会, 千葉市, 2023.5.22
- ・竹谷文一, 松本和彦, 関谷高志, 山地一代, 金谷有剛, 西部北太平洋亜熱帯海域における大気栄養塩供給の海洋表層基礎生産への影響評価, 第28回大気化学討論会, 長崎, 2023.11.22

(中山)

- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 光スイッチ型生分解性プラスチックの評価方法の検討, 第30回瀬戸内海研究フォーラム (主催: 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会), 山口県 (山口大学), 2023.8.27
- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 日野彰大, 井川聡, 岡村秀雄, 井川聡, 中山敦好 光増感剤を用いた光スイッチ型海洋生分解性プラスチックの抗菌活性評価, 日本防菌防黴学会 第50回年次大会 (主催: 日本防菌防黴学会), 大阪 (千里ライフサイエンスセンター), 2023.8.29
- ・増井昭彦, 豊島有瑞子, 井川聡, 岡村秀雄, 中山敦好 光スイッチ型生分解性樹脂の実海域における分解性評価, 第72回高分子討論会 (主催: 高分子学会), 高松 (香川大学), 2024.9.26
- ・中山敦好, 日野彰大, 山野尚子, 川崎典起, 岡村秀雄 海水中の微生物数とその挙動、樹脂の生分解活性との関係, 日本農芸化学会2024年度大会 (主催: 日本農芸化学会), 東京 (東京農業大学), 2024.3.26

海事輸送工学研究部門

(笹)

- ・ 前田真穂, 笹健児, 寺田大介, 実海域における機関負荷の周波数特性から見た荒天航海時の意図的減速の判断, 日本船舶海洋工学会第27回推進・運動性能研究会, 2024年3月5日
- ・ 嶋悠馬, 笹健児, 肥大船に対する波浪中抵抗増加の差異に関する比較考察, 日本船舶海洋工学会第27回推進・運動性能研究会, 2024年3月5日
- ・ 正垣智也, 笹健児, Lee, S.W., 太平洋での荒天航海時に遭遇した気象変化およびうねり特性に関する一考察, 日本船舶海洋工学会第26回推進・運動性能研究会, 2023年11月7日
- ・ 前田真穂, 笹健児, 実海域における主機関負荷変動の時変自己回帰モデル解析について, 日本船舶海洋工学会第26回推進・運動性能研究会, 2023年11月7日
- ・ Sasa, K., Dynamic Analysis of Lashed Trailers in Ferry under Rough Sea Voyages, QiR (Quality in Research) 2023 Conference, Bali, Indonesia (招待講演)
- ・ 前田真穂, 笹健児, 実海域における荒天航海時の主機関負荷の周波数特性について, 日本船舶海洋工学会第25回推進・運動性能研究会, 2023年7月4日
- ・ 嶋悠馬, 笹健児, 細長船モデルごとにおける船首尾端の形状影響による流体力係数および抵抗増加の数値比較と考察, 日本船舶海洋工学会第25回推進・運動性能研究会, 2023年7月4日

(元井)

- ・ 南舜祐, 元井直樹, ピエゾアクチュエータの機械学習による高精度なヒステリシスモデルの構築, 電気学会産業計測制御研究会, 2023.8
- ・ 大竹浩辰, 元井直樹, 画像情報と力情報による書道ロボットの高精度化に関する研究, 電気学会産業計測制御研究会, 2023.8

4 受賞・報道・研究集会開催

4.1 国際会議や研究集会の主催・共催

国際海事政策科学研究部門

- ・ 第146回海上交通システム研究会, 2023年5月18日 15:00~17:50, (澤井)
- ・ 第147回海上交通システム研究会, 2023年9月28日 13:30~17:00, (澤井)
- ・ 第148回海上交通システム研究会, 2024年2月6日 14:10~17:30, (澤井)

輸送システム科学研究部門

- ・ 神戸解析セミナー, (2023.5.16, 2023.6.15, 2023.7.11, 2023.10.16, 2023.10.31, 2023.12.21.), 主催 (上田)

海洋システム科学研究部門

- ・ 2023年度 大気環境学会近畿支部研究発表会, 2023年12月26日, 主催 (山地) (地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 OIPHホール)

4.2 招聘した外国人研究者

海洋システム科学研究部門

- ・ Charla Jean Basran, アイスランド大学、アイスランド (岩田)

海事輸送工学研究部門

- ・ Marijana Balas, University of Rejeka, Croatia, 2023年11月8日～11月18日（笹）

4.3 特記事項（受賞や国際機関・国・自治体等での重要な委員等）

国際海事政策科学研究部門

【受賞】

- ・ 2023年度 住田海事奨励賞 海難事例分析 安全運航へ向けて 2023年11月13日（関根）

【委員等】

- ・ 国土交通省 神戸運輸監理部 近畿地方交通審議会臨時委員（淵）
- ・ 公益社団法人 瀬戸内海海上安全協会 委員（淵）
- ・ 一般財団法人 大阪府マリーナ協会 評議員（淵）
- ・ 一般財団法人 海技振興センター 自動運航船運航者の能力検討に関する専門委員会委員長，HTW調査研究に関する専門委員会委員（淵）
- ・ 公益社団法人 神戸海難防止研究会 常任調査研究委員，大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に関する調査研究委員会委員，大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討調査委員会委員，和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査委員会 委員（淵）
- ・ 兵庫労働局 兵庫地方労働審議会 臨時委員（淵）
- ・ 公益社団法人 日本航海学会 代議員（淵）
- ・ 一般財団法人 日本船舶技術研究協会 安全評価等実施委員会(藤本（昌）)
- ・ 一般財団法人 みとびら 代表理事(藤本（昌）)
- ・ 日本海洋政策学会 広報委員会委員(藤本（昌）)
- ・ 公益社団法人 神戸海難防止研究会 常任調査研究委員(藤本（昌）)
- ・ 一般財団法人 神戸大学海事科学振興財団 評議員(藤本（昌）)
- ・ 公益社団法人 日本航海学会 理事，代議員(藤本（昌）)
- ・ 大阪府 水上交通の安全と振興検討委員会委員(藤本（昌）)
- ・ 公益社団法人 日本航海学会 英文論文審査委員（ルックス）
- ・ 内閣官房拉致問題対策本部事務局 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール2023の英語エッセイ部門最終審査委員（ルックス）
- ・ 日本海洋政策学会 顧問（中原）
- ・ 環境省 令和5年度洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会 委員（中原）
- ・ 環境省 令和5年度令和5年度浮体式洋上風力発電による地域の脱炭素化ビジネス促進事業委託業務（早期普及に向けた調査・検討等事業）検討会 委員（中原）
- ・ 山形県遊佐町沖における協議会（再エネ海域利用法による法定協議会） 構成員（中原）
- ・ 青森県沖日本海（南側）における協議会（再エネ海域利用法による法定協議会） 構成員（中原）
- ・ 長崎県西海市江島沖における協議会（再エネ海域利用法による法定協議会） 構成員（中原）
- ・ 山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議（山形県主催） 委員（中原）

- ・山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議酒田沿岸域検討部会（山形県主催） 委員（中原）
- ・山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議遊佐沿岸域検討部会（山形県主催） 委員（中原）
- ・（公財）日本科学協会 笹川科学研究助成海洋関連研究選考員会 委員（中原）
- ・Marine Technology Society日本支部 副支部長（中原）
- ・横浜国立大学 非常勤講師（中原）
- ・沖縄県竹富町 「多機能型貨物輸送船設計・建造に掛かる業者選定委員会」委員（工藤）
- ・日本海事協会 公平性委員会委員及び海務委員会委員（工藤）
- ・日本海洋科学振興財団 評議員（工藤）
- ・日本海事広報協会 評議員（工藤）
- ・海上交通システム研究会 幹事（工藤）
- ・外航海運における魅力ある船員の働き方のための教材作成検討専門委員会 委員長（羽原）
- ・旅客船事業者の安全性評価制度検討委員会 委員長（羽原）
- ・船員の定着率向上を目指したキャリアアップ訓練等の見える化にかかる検討会 委員長（羽原）
- ・独立行政法人海技教育機構研究発表会 外部評価委員（羽原）
- ・海洋研究開発機構（JAMSTEC） 嘱託研究員（吉田）
- ・宇宙航空研究開発機構（JAXA） 嘱託研究員（吉田）
- ・放送大学神奈川学習センター 非常勤講師（吉田）
- ・横浜国立大学・工学府 非常勤講師（吉田）
- ・日本船舶海洋工学会 委員（吉田）
- ・日本規格協会 非常勤講師（吉田）
- ・日本規格協会 副主査（吉田）
- ・日本船舶技術研究協会 委員（吉田）
- ・日本プラスチック工業連盟 副主査（吉田）
- ・公益財団法人日本国際フォーラム 有識者政策委員（澤井）
- ・海上交通システム研究会 副会長（澤井）

輸送システム科学研究部門

- ・日本包装学会会長（齋藤）
- ・公益社団法人 日本航海学会 監事，代議員（西村）
- ・公益社団法人 日本航海学会 和文論文審査委員（西村）
- ・国土交通省港湾局 港湾機能高度化施設整備事業（コンテナ荷役システム高度化支援設備）有識者委員会委員（西村）
- ・国土交通省港湾局 外来トレーラー等の自動化実証事業有識者委員会委員（西村）
- ・国土交通省港湾局 港湾技術開発制度有識者委員会委員（西村）
- ・兵庫労働局 兵庫地方労働審議会 臨時委員（港湾労働部会），公益代表委員（西村）
- ・福岡市役所 福岡市総合計画審議会委員（西村）
- ・北九州市 北九州市地方港湾審議会委員（西村）
- ・一般社団法人 港湾荷役システム協会 遠隔操作ガントリークレーン導入に必要となる安全確保の方策に係る検討委員会委員（西村）

- ・独立行政法人 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査員、国際事業委員会書面審査員・書面評価員 (西村)
- ・国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) , 創発的研究支援事業 事前評価 外部専門家 (西村)
- ・公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 能力開発委員会物流技術管理士専門委員会委員 (秋田)
- ・関西鉄道協会 都市交通研究所 「都市交通の需要構造と運賃・料金制度」委員会主査 (水谷)
- ・伊丹市 都市計画審議会委員 (酒井)
- ・Intl. Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (SCAI) Steering Committee (沖本)
- ・Intl. Conference on Smart Computing and Artificial Intelligence (SCAI-Winter) Steering Committee (沖本)
- ・非営利活動法人 産業防災研究所 理事 (牧野)
- ・公益社団法人 日本航海学会 情報委員会 幹事 (牧野)
- ・日本包装学会 理事 (企画委員長) (北澤)
- ・公益社団法人日本食品科学工学会 Editorial Board Member, Food Science and Technology Research (北澤)
- ・Mae Fah Luang University, Thailand Co-Advisor PhD, Program in Innovative Food Science and Technology (北澤)
- ・SIES School of Packaging, Packaging Technology Centre, India Scientific Committee Member, The 31st IAPRI Members Conference Mumbai 2023 (北澤)
- ・一般社団法人日本食品包装協会 評議員代表 (北澤)
- ・特定非営利活動法人食品保健科学情報交流協議会 常任理事 (北澤)
- ・公益社団法人日本包装技術協会 「小包輸送のための温度制御輸送包装ー試験の一般仕様JIS原案作成分科会」主査 (北澤)

海洋システム科学研究部門

【受賞】

- ・日本分析化学会ポスターポスター賞受賞、佐藤聡太郎、片山耕太郎、田淵日奈子、山田杏樹、池内亮太、宮本紘幸、松本健嗣、堀田 弘樹、辻野 義雄、髪質改善素材の開発研究に関わる分析化学、近畿支部創設70周年記念式典、大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー3階 常翔ホール、2023.6.24
- ・最優秀賞受賞、片山耕太郎、宮本紘幸、堀田弘樹、山崎祥子、田中良宣、辻野義雄、毛髪トリートメント効果を有する有機酸とアミンの新規化合物合成、神戸大学研究基盤センター若手フロンティア研究会2023、2023.12.26、神戸大学百年会館.
- ・2023年度 大気環境学会近畿支部研究発表会 ベストプレゼン賞, デリー首都圏におけるPM2.5濃度上昇とインド北西部の稲藁焼きの関連性, 辻彩弥加 (指導教員: 山地一代)
- ・Grand Prix Tremplin-ASEAN Prize Award (フランス科学アカデミー) インドネシアの火山噴火が地域及び地球におよぼす影響とそれらが引き起こす気候攪乱に関する研究 2023年6月13日 (Danang Sri Hadmoko)

【委員等】

- ・Editorial Board, Toxics (岡村)

- Review Editor in Marine Pollution, *Frontiers in Marine Science/ Frontiers in Environmental Science* (岡村)
- Editorial Board Member, *Environmental Monitoring and Contaminants Research* (岡村)
- Scientific Committee Member, 10th International Conference on Environmental Management, Engineering, Planning and Economics (CEMEPE2023) and SECOTOX Conference (岡村)
- Scientific Committee Member, 21th International Symposium on Toxicity Assessment (ISTA21) (岡村)
- 環境省環境研究総合推進費 1-2301アドバイザー (岡村)
- 日本環境毒性学会幹事 (岡村)
- 神戸市環境影響評価審査会委員 (岡村)
- 環境省生態リスク評価分科会委員 (岡村)
- 中国揚州大学客員教授 (岡村)
- 日本分析化学会近畿支部常任幹事 (堀田)
- 日本分析化学会フローインジェクション分析研究懇談会英文誌 *Journal of Flow Injection Analysis* 編集委員 (堀田)
- 日本ポーラログラフ学会、評議員 (堀田)
- 電気化学会近畿支部幹事 (堀田)
- 日本学術会議小委員会 委員 (環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会 IGAC小委員会) (山地)
- 第29回大気化学討論会, local organizing committee代表 (山地)
- 大気環境学会 大気モデリング分科会幹事 (山地)
- 大気環境学会近畿支部 運営幹事, 学術委員長, 気象拡散部会幹事 (山地)
- *Advances in Atmospheric Sciences*, Editorial board, Editor (山地)
- 第11期京都府環境審議会委員 (山地)
- 京都府環境影響評価専門委員会委員 (山地)
- International Conference on CMAS-Asia-Pacific, Local Committee (山地)
- 環境省 PM2.5インベントリ検討会 委員 (山地)
- 環境再生保全機構検討会 委員 (山地)
- ArCS II 北極域研究加速プロジェクト (山地)
- 総合地球環境学研究所 地球人間システムの連環プログラム Aakashプロジェクト (山地)
- Associate Editor of *Journal of Ethology* (岩田)
- 日本バイオリギング研究会 幹事 (岩田)
- *Talanta*誌 (Elsevier) Associate Editor (角田)
- 環境省海洋環境モニタリング調査検討委員会 委員 (牧)
- 東日本大震災に係る海洋環境モニタリング調査検討委員会 委員 (牧)
- 未査定液体物質査定検討会 委員 (牧)
- 海洋学会海洋観測ガイドライン編集委員会 委員 (牧)
- 国土交通省海事局「海洋水質・生態系保護基準整備に関する調査研究」(海洋水質・生態系保護基準整備プロジェクト) 船舶の汚水処理規則の見直しに係るワーキンググループ 委員 (牧)・
- 一般財団法人海上災害防止センター特別海上災害対応支援グループ 専門家 (牧)
- 公益財団法人国際環境技術移転センター 非常勤講師 (牧)

海事輸送工学研究部門

- ・日本航海学会 理事 (笹)
- ・日本航海学会 論文査読委員 (笹)
- ・日本航海学会 令和5年度春季講演会 実行委員長 (笹)
- ・日本船舶海洋工学会 会務委員 (笹)
- ・日本船舶海洋工学会 令和6年度春季講演会実行委員 (笹)
- ・日本学術振興会 科学研究費委員会 専門委員 (笹)
- ・23rd PAAMES and AMEC 実行委員 (笹)
- ・関西海事教育アライアンス 運営委員 (笹)
- ・一般社団法人 電気学会関西支部 協議員 (元井)
- ・神戸大学生協同組合 理事 (元井)
- ・福井大学 評価委員 (元井)
- ・IEEE IES Technical Committee on Sensors and Actuators Vice-Chair, IES Technical Committee on Moticon Control Sub-committee Chair, IEEE/ASME Transactions on Mechatronics Technical Editor, International Conference on Advanced Motion Control Technical Teack Chair (元井)
- ・一般社団法人 電気学会 産業計測制御技術委員会副委員長, 知的センシングとコントロールの融合技術に関する調査専門委員会委員, 多技術融合による高度センサ応用に関する調査専門委員会幹事補佐, 巧みなアクチュエーション技術に関する調査専門委員会委員, 産業応用のためのデータ利活用制御に関する調査専門委員会委員, モーションコントロールの異分野融合に関する調査専門委員会委員, 論文委員会 (D2グループ) 主査, 論文委員会 (D7グループ) 幹事, 編修専門第4部会委員, 2023年電気学会産業応用部門大会論文委員会幹事補佐, 令和6年全国大会グループ委員会7グループ主査, 令和6年全国大会論文委員会委員, SAMCON2024実行委員会委員, SAMCON2024 Technical Teack Chair, SAMCON2024 Publication Chair (元井)
- ・近畿運輸局 船員政策全般に関する調査審議の臨時委員 (三輪)
- ・公益社団法人 日本マリンエンジニアリング学会 技術者教育委員会委員, 機関プラントシミュレーター研究委員会委員長, 第93回(令和5年)マリンエンジニアリング学術講演会実行委員 (三輪)
- ・日本船舶海洋工学会 関西支部副支部長 (勝井)
- ・Techno-Ocean2023 Executive Committee Co-Chair (勝井)
- ・International Towing Tank Conference Resistance & Propulsion Committee Member (勝井)
- ・大阪府立大学大学院工学研究科海洋システム工学分野 外部評価委員 (勝井)
- ・テクノオーシャン・ネットワーク 理事 (勝井)

5 競争的資金の獲得

5.1 代表者としての外部資金獲得状況

国際海事政策科学研究部門

- ・Safety-IIの視点を加えた船舶衝突回避判断の特徴と学習プログラムの検討(科研費:基盤研究(C)) (渕)
- ・ECLA 寄附金(奨学寄附金:ECL エージェンシー (株)) (渕)
- ・株式会社サンオーシャン奨学寄附金(渕)

- ・新規防汚塗料の開発（共同研究：日本ペイントマリン（株））（澁）
- ・高耐食型被覆平行線ケーブルの開発（共同研究：神鋼鋼線工業（株））（澁）
- ・火災発生状況のシミュレーションに対する操船の立場からの指導（学術指導：エア・ウォーター防災社）（澁）
- ・低稼働内航船用に適した船底防汚塗料の実船検証（共同研究：中国塗料（株））（藤本（昌））

輸送システム科学研究部門

- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:アイデックス(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:花王(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:神栄テクノロジー(株))(齋藤)
- ・齋藤勝彦奨学寄附金(奨学寄附金:神鋼物流（株）)(齋藤)
- ・港湾ターミナルでのゲート制御と内陸側荷役の高度化に関する研究（科研費:基盤研究(C)）（西村）
- ・鉄道コンテナの貨物需要から貨物車交通の需要を推計するシステムの開発（科研費:基盤研究(C)）(秋田)
- ・航空政策研究会研究2023年度プロジェクト支援研究助成金（公募型助成金：航空政策研究会）（酒井）
- ・衝撃応答スペクトル解析の応用による青果物の蓄積疲労損傷特性のプロファイリング（科学研究補助金，基盤研究(C)）（北澤）
- ・青果物輸送のための適切な緩衝包装容器の研究（共同研究：日本モールド工業株式会社）（北澤）
- ・船舶用塗料の粗度に起因する船底摩擦抵抗に関する研究開発（共同研究：中国塗料株式会社）（三重野）
- ・低稼働内航船に適した船底防汚塗料の実船検証（共同研究：中国塗料株式会社）（三重野）
- ・折りたたみ式コンテナの周遊に関する最適・経済合理的な周遊ルート・適用条件の解析（受託研究：豊田通商株式会社）（新谷）

海洋システム科学研究部門

- ・ Electromagnetic Detection and Velocimetry of Wood debris Moving in Water for Drifted Wood Disaster Reduction（科学研究補助金，基盤研究(C)）（ゴメス）
- ・赤外光導波路センサーを用いた、水中溶存化学種の赤外検出の高感度化（科研費基盤研究C）（堀田）
- ・スナメリの未来を救え！大阪湾で生きるスナメリが人と共存するために（クラウドファンディング）（岩田）
- ・液液光導波路分光法とそのCFD解析による、混じり合う液液界面での化学反応解析（科学研究補助金，基盤研究(C)）（角田）
- ・貧栄養海域への湿性沈着が海洋表層基礎生産力に及ぼす影響評価：現場観測による検証（科

学研究費補助金 基盤研究(C) (竹谷)

海事輸送工学研究部門

- ・ オーシャンフリートモニタリングシステムの設計と運用による海上コンテナの安全管理 (令和5年度戦略事業推進費・ミッション実現戦略分) (笹)
- ・ 二国間交流による海のビッグデータを活用したGHG排出削減および最適運航の高度化 (二国間交流事業) (笹)
- ・ 気象の不確実さによる荒天航海・係留問題の危機管理を実現するOPE最適運航システム (科学研究費・基盤研究B) (笹)
- ・ グローバルデータベース構築によるアジア～豪州～欧州間の海上輸送の高精度化 (科学研究費・国際共同研究促進 (国際共同研究強化(B))) (笹)
- ・ 船用工業講義「海事産業技術概論」開講に関する助成のため (奨学寄附金:一般社団法人日本船用工業会) (内田)
- ・ 自律航行機能の技術進展に対応する船舶機関資源管理 (ERM) に関する研究 (科研費:基盤研究(C)) (内田)
- ・ 公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団試験研究助成金(元井) 直樹 (公募型助成金:公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団) (元井)
- ・ 萩原学術振興財団研究助成金 (公募型助成金:公益財団法人萩原学術振興財団) (元井)
- ・ 2023年度公益財団法人日本科学協会海外発表促進助成 (公募型助成金:公益財団法人日本科学協会) (元井)
- ・ 第41回(令和5年度)公益財団法人カシオ科学振興財団研究助成金 (公募型助成金:公益財団法人カシオ科学振興財団) (元井)
- ・ 2023年度造船学術研究推進機構研究助成金 (三輪誠) (公募型助成金:造船学術研究推進機構) (三輪)
- ・ 実船流場の計測および解析技術に関する奨学寄附金 (三井造船昭島研究所) (奨学寄附金:株式会社三井造船昭島研究所) (勝井)
- ・ 低摩擦型塗料のEEXI低減量の定量的評価法の構築 (科研費:基盤研究(B)) (勝井)

5.2 分担者としての外部資金獲得状況

輸送システム科学研究部門

- ・ 地方における国際旅客交通政策の新たな展開と経済的影響の実証・理論研究(科研費:基盤研究(C) 代表:東京海洋大学 遠藤 伸明)(酒井)
- ・ 全体最適と個人最適を両立させる分散協調問題解決 (科研費:基盤研究(B) 代表:神戸大学 平山 勝敏) (沖本)
- ・ 非標準的な不可逆過程を記述する発展方程式-解のダイナミクスに現れる特異性の解析- (科学研究費 基盤研究B) (東北大学 赤木剛朗) (上田)
- ・ 曲率流に対する閾値型近似アルゴリズムとそれを用いた広義解の性質の研究 (科学研究費 基盤研究C) (神戸大学 石井克幸) (上田)
- ・ 曲面・曲線からなる曲率流に対する近似アルゴリズムとそれを用いた広義解の性質の研究 (科学研究費 基盤研究C) (神戸大学 石井克幸) (上田)

- ・港湾ターミナルでのゲート制御と内陸側荷役の高度化に関する研究（科学研究費補助金，基盤研究(C)）（神戸大学 西村悦子）（新谷）

海洋システム科学研究部門

- ・光スイッチ型海洋分解性の可食プラスチックの開発研究（NEDOムーンショット型研究開発事業（研究分担者））（代表：産業技術総合研究所 中山敦好）（岡村）
- ・液液光導波路分光法とそのCFD解析による、混じり合う液液界面での化学反応解析（科学研究費基盤研究C、代表：神戸大学 角田欣一）（堀田）
- ・付着期幼生の複眼が視覚する光で防汚場所から誘導しフジツボ付着を防ぐ新規方法の開発（科学研究費基盤研究C、代表：神戸大学 三村治夫）（堀田）
- ・人毛のコーミング抵抗性と人種間比較（共同研究、（株）YC.Primarily、代表：神戸大学 辻野義雄）（堀田）
- ・アミノエチルチオコハク酸（ATS）の毛髪への作用機構の解明（共同研究、（株）佐々木化学、代表：神戸大学 辻野義雄）（堀田）
- ・N-グアニルシステインの毛髪への効果について（共同研究、川口産業（株）、代表：神戸大学 辻野義雄）（堀田）
- ・領域化学輸送モデル間の相互比較に基づく大気質改善予測の信頼性向上（科学研究費基盤B、代表：国立環境研究所 茶谷 聡）（山地）
- ・燃烧起源SLCFの東アジア国別排出量の迅速把握と方法論構築（環境研究総合推進費、代表：国立環境研究所 谷本浩志）（山地）
- ・対流圏オゾンホールと海洋大気ヨウ素化学：西太平洋低緯度域の重点解析と全球知見統合（科学研究費補助金，基盤研究(A)）（海洋研究開発機構 金谷有剛）（竹谷）